発行所 東京都新宿区左門町11番6の101
〒160－0017
社団法人 大学婦人協会
電 話 03－3358－2882
FAX 03－3358－2889
http://www3.tky.3web.ne.jp/~jauw/
郵便振替 00150－7－173434
編集兼発行人 鷲崎千春
発行日 平成12年6月20日

JAUW

おもな記事

1面 会長あいさつ，第43回通常総会記録
2面 全国セミナーのお知らせ，支部長懇談会報告，理事・監事名簿，支部長名簿
3～8面 1999年度事業報告，2000年度事業計画，本部委員会名簿，新人会員名簿
9～10面 大学婦人協会守田科学研究奨励賞・国内奨学生募集要項，国庫補助事業決算報告，1999年度決算報告，2000年度予算

第43回通常総会特集

二つの企画委員会を構成し充実した内容をはかる

第43回通常総会が、4月2日奈良において、全国から252名の多数の出席者のもとに開催された。ぎりぎりの予算をいかに有益に運用するか、セミナーへの積極的な取り組み方、IFUW創立80周年祝賀チャレンジに応えるなど多くの提案がなされた。報告・審議された内容は次のとおりである。

社団法人 大学婦人協会 第43回通常総会記録

日 時 二〇〇〇年四月二日（日） 9時～16時30分
場 所 奈良県新公会堂
出 席 者 二五二名 委任状 八〇九名 計一、〇六一名
出席支部 札幌・函館・秋田・仙台・新潟・茨城・栃木・群馬・長野・東京・神奈川・静岡・愛知・金沢・京都・奈良・大阪・神戸・岡山・広島・大分・熊本・福岡・長崎 以上24支部
欠席支部 小樽・福島・岐阜・福井・山口・愛媛・高知・鹿児島 以上8支部

《午前の部》

会議開始
司会 副会長 加藤 恭子

総会成立確認
書記 鈴木 光子
定款第5章32条に基づき、正会員1861名の1/6（373名）以上の参加（委任状提出者を含む）により総会が成立することを確認する。

開会の辞
会長 山本 和代

黙 禱
逝去会員11名のご冥福を祈って、一同起立、黙禱。

議長承認
定款第5章第29条により、山本和代会長が議長となる。

書記選出
本 部 鈴木 光子・百束 礼子
奈良支部 関川 千尋・和田アイ子
承認

報 告

1. **総 務**
書記 百束 礼子
「1999年度事業報告」参照

2. **委員会**
各委員長
「1999年度事業報告」参照

3. **国庫補助事業（JAUW全国セミナー・UWA総会）**
企画委員長 杉森 長子
「1999年度事業報告」企画委員会の項参照

4. **支 部**
各支部長
「1999年度事業報告」参照
前記1.～4.の「1999年度事業報告」について
承認

5. **会 計**
A. 一般会計
会計 中山 正子
1999年度収支決算並びに資産状況
「1999年度収支決算報告書及び貸借対照表」参照
B. 特別会計
会計 江口 昌子
国庫補助事業収支報告
「平成11年度国庫補助事業特別会計収支決算報告」参照

監査報告
監事 藤崎 久
3月27日、本部事務所において監査2名が本協会の一般会計1999年4月1日より2000年3月22日までの収支決算報告、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書について元帳・各種領収書・預金通帳・及び現金と照合して監査を行った。その結果、資産の管理・運用、会計の処理・記帳ともに適正に記載され間違いのないことを確認したので報告する。
また、同日平成11年度（1999年度）国庫補助事業特別会計についても同様に監査し、その結果、会計の処理・記帳ともに適正に記載され間違いのないことを確認したので報告する。
承認

一般会計、特別会計について
審 議
議長 山本 和代

1. **新役付理事・監事の承認**（会報196号参照）
選考委員長 中村ミチコ
当法人の理事・監事の全員が4月4日をもって任期満了となるため選考委員会で選考の結果、新役付理事・監事として左記の候補者を推薦する。
会 長 山本 和代（再）
副会長 加藤 恭子（再）
副会長 杉森 長子（再）
書 記 百束 礼子（再）
書 記 関口 瑞穂（新）
会 計 江口 昌子（再）
会 計 中山 正子（再）
監 事 藤崎 久（再）
監 事 根岸 愛子（新）
承認

2. **新役員選考委員の承認**（会報197号参照）
選考委員長 中村ミチコ
当法人の役員選考委員のうち、中村ミチコ、峯川正子の2会員は1999年度末で任期満了となるため新選考委員として伊藤俊枝、平田宏子の2会員を推薦する。
承認

3. **新役付理事・監事、新役員選考委員の紹介**

《午後の部》

4. **2000年度事業計画案**
委員会「2000年度事業計画」参照
各委員長
支 部「2000年度事業計画」参照
各支部長

5. **2000年度予算案**
（会報197号参照）
財務委員長 井口美登利
長引く超低金利による利息収入の減少と、会員の増強による会費収入の増加も望めないため、予算の削減をせざるをえない。加えて文部省からの補助金も、2000年度は1999年度より大幅に削減されると思われる。基金への繰り入れを減らし、不測の事態に少しでも備えられるようにしたい。

6. **国際奨学金基金について**
国外奨学委員長 井上 章子
国際奨学金は元来国際奨学金基金の利息収入をもって充当していたが、昨今は超低金利のため利息収入だけで奨学金を賄うことが不可能になってきた。そのため国際奨学金基金（6000万円）の一部を取りくずし、奨学金に充てたいと考える。
加藤副会長より左記のような補足があった。
基本財産である国際奨学金基金を取りくずすには、定款第7章第42条により、総会の議決及び文部大臣の承認が必要である。文部大臣の承認が得られるよう努力をするので、承認が得られたならば、国際奨学金基金のうち1000万円を取りくずすことを認めていただきたい。
(1) 1000万円の基金を取りくずすこと
(2) 文部大臣の承認が得られ次第、ただちに取りくずしの手続きを行うこと
承認
会場より、取りくずしが安易に行われるようになる危険はないか、他に考えられる方法はないかなどの意見も出された

総会を終えて
―国際社会の一員として―

会長 山本 和代

古都の香りただよう早春の奈良のたたずまいのなか、奈良支部の皆さんの行き届いた温かいお心くばりによって、第43回総会を無事に終えることができ感謝しています。

昨秋はUWAの総会と合わせて行った全国セミナーで、アジアの仲間たちとのつながりを強め、今春にはジュネーブで開催されたIFUW創立80周年祝賀行事に青木怜子・房野桂両氏をはじめ9名の会員が参加するなど、国際社会の一員としての自覚を深めることができました。各支部それぞれの特色を生かした多彩な活動報告に加え、これらの国際的動向をふまえて、ニュー・ミレニアムにふさわしく21世紀に向けての展望と期待がふくらむ総会になったことは嬉しいことでした。

総会では委員会名の改称、「科学研究奨励委員会」の増設や、企画委員会を第一と第二に分けて杉森・加藤両副会長が担当するなど組織上の変更も承認されました。これらは社会の要請に応えるとともに、本部と支部との連携を密にし、一人でも多くの会員に本部の企画や活動に参画していただきたいとの願いからでした。今後ますます女性の社会進出は進み活動の場も広がります。組織のみでなく会の運営にも多様な形態・方法・働きかけが以前にも増して必要になってきます。会員から寄せられたアンケートにも「学生を含め若手の研究グループを作りたい」「夜間・休日のプログラムや託児付きの企画も考えたい」「教育問題の研究グループを作りたい」「育児・教育相談の窓口を作る」といった積極的な意見が出されています。

IFUW80周年記念晩餐会で、前会長エリザベス・ポスキットさんは歴史をふり返り「組織は普通の人が特別なことができるようにするために存在すると同時に、組織を作り出すためにはまず特別な人たちが必要であり、私たちはその人たちに恵まれてきた」と述べられました。

私はさらに先輩たちの足跡から、最初から特別な人が在っただけではなく、活動の広がりのなかで〝特別な人〟になっていくのだといったことを学ばせられました。私たちは人と共に歩む時に自分でも気づかなかった能力が花開き、相互のかかわりのなかで成長していくことができるのだといった感を深くします。もう齢だから、まだ若いからと自己規制せず、生涯現役、生涯学習の歩みをこの団体のなかで互いに確かめ合っていきたいと願います。

今年のセミナーは「女性のエンパワーメント―男女共同参画社会の確立をめざして―」のまとめの年になっています。来夏にはオタワにおいて第27回IFUW総会が開催されます。一部の人の関心にとどめず、呼びかけ合い、働きかけ合って日頃の活動の成果を全国的なネットワークのなかで、国際的な連帯のなかで問い合いたいと思います。

6月にはニューヨークにおいて国連の特別総会として「女性2000年会議」がもたれます。男女平等社会の確立を現実のものとするために、国内外に果たすべき責任もまた大きなものがあります。

総会会場に溢れた熱気とエネルギーを私たちの役割、負うべき責任もまた大きなものがあります。

総会会場に溢れた熱気とエネルギーを明日につなげ、さらなるステップに備えましょう。

報 告

1. **総 務**
書記 百束 礼子
「1999年度事業報告」参照

2. **委員会**
各委員長
「1999年度事業報告」参照

3. **国庫補助事業（JAUW全国セミナー・UWA総会）**
企画委員長 杉森 長子
「1999年度事業報告」企画委員会の項参照

4. **支 部**
各支部長
「1999年度事業報告」参照
前記1.～4.の「1999年度事業報告」について
承認

5. **会 計**
A. 一般会計
会計 中山 正子
1999年度収支決算並びに資産状況
「1999年度収支決算報告書及び貸借対照表」参照
B. 特別会計
会計 江口 昌子
国庫補助事業収支報告
「平成11年度国庫補助事業特別会計収支決算報告」参照

監査報告
監事 藤崎 久
3月27日、本部事務所において監査2名が本協会の一般会計1999年4月1日より2000年3月22日までの収支決算報告、貸借対照表、財産目録、正味財産増減計算書について元帳・各種領収書・預金通帳・及び現金と照合して監査を行った。その結果、資産の管理・運用、会計の処理・記帳ともに適正に記載され間違いのないことを確認したので報告する。
また、同日平成11年度（1999年度）国庫補助事業特別会計についても同様に監査し、その結果、会計の処理・記帳ともに適正に記載され間違いのないことを確認したので報告する。
承認

一般会計、特別会計について
審 議
議長 山本 和代

1. **新役付理事・監事の承認**（会報196号参照）
選考委員長 中村ミチコ
当法人の理事・監事の全員が4月4日をもって任期満了となるため選考委員会で選考の結果、新役付理事・監事として左記の候補者を推薦する。
会 長 山本 和代（再）
副会長 加藤 恭子（再）
副会長 杉森 長子（再）
書 記 百束 礼子（再）
書 記 関口 瑞穂（新）
会 計 江口 昌子（再）
会 計 中山 正子（再）
監 事 藤崎 久（再）
監 事 根岸 愛子（新）
承認

2. **新役員選考委員の承認**（会報197号参照）
選考委員長 中村ミチコ
当法人の役員選考委員のうち、中村ミチコ、峯川正子の2会員は1999年度末で任期満了となるため新選考委員として伊藤俊枝、平田宏子の2会員を推薦する。
承認

3. **新役付理事・監事、新役員選考委員の紹介**

《午後の部》

4. **2000年度事業計画案**
委員会「2000年度事業計画」参照
各委員長
支 部「2000年度事業計画」参照
各支部長

5. **2000年度予算案**
（会報197号参照）
財務委員長 井口美登利
長引く超低金利による利息収入の減少と、会員の増強による会費収入の増加も望めないため、予算の削減をせざるをえない。加えて文部省からの補助金も、2000年度は1999年度より大幅に削減されると思われる。基金への繰り入れを減らし、不測の事態に少しでも備えられるようにしたい。

6. **国際奨学金基金について**
国外奨学委員長 井上 章子
国際奨学金は元来国際奨学金基金の利息収入をもって充当していたが、昨今は超低金利のため利息収入だけで奨学金を賄うことが不可能になってきた。そのため国際奨学金基金（6000万円）の一部を取りくずし、奨学金に充てたいと考える。
加藤副会長より左記のような補足があった。
基本財産である国際奨学金基金を取りくずすには、定款第7章第42条により、総会の議決及び文部大臣の承認が必要である。文部大臣の承認が得られるよう努力をするので、承認が得られたならば、国際奨学金基金のうち1000万円を取りくずすことを認めていただきたい。
(1) 1000万円の基金を取りくずすこと
(2) 文部大臣の承認が得られ次第、ただちに取りくずしの手続きを行うこと
承認
会場より、取りくずしが安易に行われるようになる危険はないか、他に考えられる方法はないかなどの意見も出された

懇 談
司会 加藤 恭子

1. **2000年度国庫補助事業について**
副会長 杉森 長子
2000年度は過去2年間継続してきた「女性のエンパワーメント―男女共同参画社会の確立をめざして」をテーマとする調査・研究の最終年にあたる。過去の調査・研究の結果からみて、エンパワーメントのストラテジーの鍵となるのは教育と考えられるので、幼児から成人までの生涯教育に重点を置いたストラテジーを構築していきたい。

セミナー開催日：10月14、15日（予定）
会場：国立婦人教育会館
（予定）
会場からはJAUWが行政にもっとアクセスすることが必要ではないか、セミナーへ若手会員が出席しやすいように保育の問題を考えてほしいなどの意見が出された。なお、要望書については、次のような意見が出された。
(1) 要望書にもっと意見を取り入れてほしい。
(2) 要望書に意見を取り入れるために、次の工夫をしたい。
①調査・研究の発表の時に、各発表者は調査・研究の成果としての「要望事項」を発表する。
②セミナー参加者は、全体討議には必ず出席し、要望事項、決議事項をまとめる作業に積極的に参加するようお願いする。

2. **IFUW創立80周年祝賀チャレンジについて**
国際第一委員長 平野 和子
創立80周年を記念して次の**三つのチャレンジ**が行われるので、各支部でも参加していただきたい。
(1) 創立80周年祝賀チャレンジ：2000年12月までの一日を「IFUWデー」と定め行事を行う。
(2) 創立80周年記念プロジェクト／プログラム・チャレンジ：できれば研究行事計画のテーマ（グローバリゼーション：教育を通しての共生）に沿ったプロジェクトやプ

ログラムに取り組む。

(3) 創立80周年記念財政チャレンジ：総額10万スイスフラン以上の資金を調達するチャレンジに参加する。これに関しては3月25、26日に開催されたIFUW80周年祝賀行事に会長以下9名が参加した際、700スイスフランを寄贈した。

3. オタワ総会にむけて　平野　和子

2001年8月10～17日オタワで開催されるIFUW総会では、JAUWの費用負担で日本語の同時通訳を入れることが認められたので、多くの方が議論に参加することを希望する。さらに決議案も出したいと思うのでご協力いただきたい。各支部においても、総会にむけて勉強会を開くなど準備をしていただきたい。学際セミナーでは田中正子教育委員長が平和教育についてのコンビナーを務めることになっている。

4. アンケートの結果について　加藤　恭子

JAUW全会員を対象に行ったアンケート調査の結果、教育問題に多くの関心があることがわかったので、JAUW全体で教育問題研究会のようなものを作り、活動を継続させていきたいと考えている。

このことについては種々意見が出され、理事会で今後の方針を決めていくこととなった。

5. 若手会員育成金について　加藤　恭子

希望があれば本部に連絡してほしい。

その他会場より、総会・セミナーでの保育の希望、賛助会員のあり方、国際奨学金の審査を慎重にするようになどの意見が出された。

次期総会開催地について　加藤　恭子

第44回総会は、2001年3月31日、4月1日、東京において開催する。

次期総会開催承諾の挨拶　東京支部長　高井　敬子

開催地支部長挨拶　奈良支部長　中川　早苗

謝　辞　岡山支部長　寺元美保子

閉会の辞　副会長　杉森　長子

前記の点を明確にするためにこの議事録を作成し、議長及び出席者代表2名が署名押印する。

2000年4月2日

社団法人　大学婦人協会
総会
議長(会長)　山本　和代　署名人　坂上栄美子　署名人　鷲崎　千春

≪2000年度全国セミナー≫
女性のエンパワーメント
―男女共同参画社会の確立をめざして(3)―

企画第一委員会委員長　杉森　長子

2000年度全国セミナーは、「女性のエンパワーメント―男女共同参画社会の確立をめざして―」と題して開始された調査・研究事業の3年目すなわち最終年である。

これまでの2年間の調査・研究によって、女性のエンパワーメントの実態、直面する障碍などが様々な分野において明らかにされた。最終年の今年度セミナーの主目標は、それらの障碍を排除し、乗り越えるために、いかなる方策＝ストラテジーがあるかを明晰に示し、問題解決への道を示すことである。

すでに行ってきた調査・研究の結果、エンパワーメントにとって障碍となっているものを取り除くためのストラテジーとしては、「教育」が最も根本的かつ効果的と考えられることに、多くの方が気付かれたことと思う。

そこで、本年度は、男女共同参画社会を確立するために、ジェンダー・フリーの教育の果たす役割に注目し、これまで取り組んできた諸分野における調査・研究を総括し、調査・研究の成果の発表を期待したい。

家庭教育、学校教育、社会教育など様々な教育の分野における種々の取り組みが、その成果によって、政策決定、労働、社会福祉、その他の領域において女性のエンパワーメントを進め、男女共同参画社会確立への道を拓くことになるのではなかろうか。

このような展望のもとに、ジェンダ・フリーの教育はいかに行われるべきか、ジェンダー・フリーの教育を家庭や学校あるいは地域社会において、いかに進めていくべきかなどについて、具体的な提案がそれぞれの調査・研究の成果として示されることを期待したい。

最後に、今年度の特徴として、企画委員会構成員の変化にふれたい。従来、セミナーの企画委員会は本部理事により構成されていたが、本年度から、地方支部や理事以外の会員も企画委員会の構成員となった。これはセミナーの企画に多くの会員や支部の考えを反映させたいとの理事会の配慮によるものである。

セミナーの実行にあたっては、従来、多くの会員の皆様のご参加をいただいていたが、今年度もさらに多くの方々のご協力をお願いしたい。

☆　★　☆

【日程と場所】
10月14日(土)、15日(日)
会場　国立婦人教育会館

【形式と構成】
1. 基調講演
2. シンポジウム
3. セッション方式による「調査・研究の発表と討論」
4. 全体討議（決議案の採択）

☆　★　☆

【研究発表の申し込み】
締切日：6月26日(月)
各支部長に連絡済み。
申込先：企画第一委員会
要　領：発表テーマと発表の概要を送付すること。

支部長懇談会報告

奈良支部長　中川　早苗

年に一度の支部長懇談会を司会するにあたって、限んでいる路線を継承しつつ、国際社会におけるリーダーとして説得力のある活動の具体化を考えるべきではないかとの意見があげられた。

懇談会には山本会長をはじめ理事・監事18名と支部長24名（うち1名は理事と兼任）が出席。約1時間という短い時間ではあったが、活発に意見交換が行われた。その主な内容は、会員の高齢化に伴う活気や活動意欲の低下、会員数の減少などを阻止して、若手会員の増強を図るためには、とにかく楽しい会にする、会の活動を県や市の行政やマスコミにもっとPRする、賛助会員の増強を図る、他の支部や団体との交流を図ることが大事ではないか、また、支部の活動資金を得るための方法についても、バザーの実施や本部役員による講演会の開催、支部会報への広告の掲載、コンピュータを利用して印刷費を安く上げる工夫をする、など様々な案が紹介された。その他にも総会やセミナーのあり方、支部長の任期や選出方法、大学婦人協会の名称の問題、奨学生の選出方法、教育問題、環境問題、NGOで果たすべき役割などについて活発な意見が交換された。

てのご支援、など現在取り組んでいる路線を継承しつつ、国際社会におけるリーダーとして説得力のある活動の具体化を考えるべきではないかとの意見があげられた。

懇談会には山本会長をはじめ理事・監事18名と支部長24名（うち1名は理事と兼任）が出席。約1時間という短い時間ではあったが、活発に意見交換が行われた。その主な内容は、会員の高齢化に伴う活気や活動意欲の低下、会員数の減少などを阻止して、若手会員の増強を図るためには、とにかく楽しい会にする、会の活動を県や市の行政やマスコミにもっとPRする、賛助会員の増強を図る、他の支部や団体との交流を図ることが大事ではないか、また、支部の活動資金を得るための方法についても、バザーの実施や本部役員による講演会の開催、支部会報への広告の掲載、コンピュータを利用して印刷費を安く上げる工夫をする、など様々な案が紹介された。その他にも総会やセミナーのあり方、支部長の任期や選出方法、大学婦人協会の名称の問題、奨学生の選出方法、教育問題、環境問題、NGOで果たすべき役割などについて活発な意見が交換された。

年に一度の支部長懇談会を司会するにあたって、限んでいる路線を継承しつつ、国際社会におけるリーダーとして説得力のある活動の具体化を考えるべきではないかとの意見があげられた。

懇談会には山本会長をはじめ理事・監事18名と支部長24名（うち1名は理事と兼任）が出席。約1時間という短い時間ではあったが、活発に意見交換が行われた。その主な内容は、会員の高齢化に伴う活気や活動意欲の低下、会員数の減少などを阻止して、若手会員の増強を図るためには、とにかく楽しい会にする、会の活動を県や市の行政やマスコミにもっとPRする、賛助会員の増強を図る、他の支部や団体との交流を図ることが大事ではないか、また、支部の活動資金を得るための方法についても、バザーの実施や本部役員による講演会の開催、支部会報への広告の掲載、コンピュータを利用して印刷費を安く上げる工夫をする、など様々な案が紹介された。その他にも総会やセミナーのあり方、支部長の任期や選出方法、大学婦人協会の名称の問題、奨学生の選出方法、教育問題、環境問題、NGOで果たすべき役割などについて活発な意見が交換された。

21世紀における大学婦人協会の果たすべき役割については、①女性問題（世界的・先進的視点からの取り組み）、②高齢者問題（福祉や介護への具体的な対応）、③教育問題（少子化への具体的な対応）、④環境問題、⑤世界平和へ向けての支援、など現在取り組んでいる路線を継承しつつ、国際社会におけるリーダーとして説得力のある活動の具体化を考えるべきではないかとの意見があげられた。

懇談会には山本会長をはじめ理事・監事18名と支部長24名（うち1名は理事と兼任）が出席。約1時間という短い時間ではあったが、活発に意見交換が行われた。その主な内容は、会員の高齢化に伴う活気や活動意欲の低下、会員数の減少などを阻止して、若手会員の増強を図るためには、とにかく楽しい会にする、会の活動を県や市の行政やマスコミにもっとPRする、賛助会員の増強を図る、他の支部や団体との交流を図ることが大事ではないか、また、支部の活動資金を得るための方法についても、バザーの実施や本部役員による講演会の開催、支部会報への広告の掲載、コンピュータを利用して印刷費を安く上げる工夫をする、など様々な案が紹介された。その他にも総会やセミナーのあり方、支部長の任期や選出方法、大学婦人協会の名称の問題、奨学生の選出方法、教育問題、環境問題、NGOで果たすべき役割などについて活発な意見が交換された。

21世紀における大学婦人協会の果たすべき役割については、①女性問題（世界的・先進的視点からの取り組み）、②高齢者問題（福祉や介護への具体的な対応）、③教育問題（少子化への具体的な対応）、④環境問題、⑤世界平和へ向けて

≪見学会≫
薬師寺　花会式について

奈良支部　安田　順恵

奈良時代、各大寺においては修二会法要が厳修されていた。

僧侶たちは、人間が意識無意識のうちに犯す過ちを悔い改め、国家安穏・万民豊楽・天下泰平・五穀豊穣・仏法興隆を祈願した。

通称〝お水取り〟と呼ばれるのは、東大寺修二会観音悔過法要であり、〝花会式〟と通称されるのは、薬師寺修二会薬師悔過法要である。

薬師寺において、紙の造花を供えるようになったのは堀河天皇の頃からで、十種類（梅・桃・桜・椿・牡丹・藤・山吹・百合・杜若・菊）で十二瓶に分けて薬師如来の御宝前に供華される。可能な限り天然染料で染められ、素朴な花のデザインは現代人の感覚にも叶う。

社団法人 大学婦人協会支部長名簿 (2000年度)

2000年5月31日現在

支部名	氏名	出身校	〒	住所	電話	FAX
小樽						
札幌	村上　和美	津	002-8023	札幌市北区篠路3条3-6-20	011-772-3689	
函館	大沼　行子	日女	040-0003	函館市松陰町15-2－405	0138-54-1636	
秋田	湊　則子	奈女	010-0903	秋田市保戸野八丁10-25	018-823-8425	
仙台	飯岡　絹子	実	984-0073	仙台市若林区荒町209	022-227-1345	022-266-0261
福島	斎藤　洋子	千葉	963-8846	郡山市久留米5-29-2	0249-45-3592	
新潟	田中　和子	新潟	950-2013	新潟市小針が丘4-11	025-266-8790	025-266-8790
茨城	松本由美子	共女	312-0041	ひたちなか市西大島1-26-22	029-274-4197	029-274-4197
栃木	増渕　民子	津	320-0032	宇都宮市昭和3-1-32	028-622-3922	028-622-3922
群馬	北爪江美子	群馬	371-0805	前橋市南町4-26-4	027-221-0337	
長野	森　かをる	奈女	380-0802	長野市上松4-32-7	026-241-8095	
東京	坂上栄美子	大女	206-0013	多摩市桜ケ丘2-18-11	042-374-0349	042-371-7091
神奈川	岩元もと子	津	227-0062	横浜市青葉区青葉台1-30-28	045-981-8114	045-981-8114
静岡	越村とくゑ	奈女	420-0886	静岡市大岩2-25-7	054-245-4785	054-245-4785
愛知	泉　ひさ	南山・フォーダム院	466-0815	名古屋市昭和区山手通3-8-2-306	052-832-3185	052-832-3185
岐阜	松井　恵美	津	502-0017	岐阜市長良雄総880-103	058-232-5010	058-232-5010
金沢	山村　福子	日女	920-0942	金沢市小立野1-5-1-406	076-262-8640	076-262-8640
福井	木村　温美	茶・慶	916-0252	福井県丹生郡宮崎村鯉口4-21	0778-32-3037	
京都	益田　圭子	日女	606-0831	京都市左京区下鴨北芝町41-4	075-791-8877	075-791-8877
奈良	水上　戴子	奈女・院	630-8101	奈良市青山8-259	0742-22-4848	
大阪	西野　博子	奈女	583-0012	藤井寺市道明寺1-6-26	0729-54-5676	0729-54-5676
神戸	加藤　啓子	神戸	665-0016	宝塚市宝松苑3-23	0797-72-8102	0797-72-8103
岡山	寺元美保子	奈女	700-0080	岡山市津島福居1-5-39	086-254-3836	086-254-3836
広島	舟橋　喜恵	名古屋	734-0045	広島市南区西本浦町14-11-601	082-285-2584	082-285-2584
山口	松岡　静子	日女	743-0001	山口県光市室積8-3-12	0833-78-0131	0833-79-0577
愛媛						
高知	池川　順子	東京	780-0870	高知市本町3-6-15	0888-75-7396	
大分	井上　富江	岡山・モンペリエ院	874-0821	別府市乙原一組	0977-24-1490	0977-24-1490
熊本	佐方　宏子	熊女	862-0908	熊本市新生1-20-12	096-369-3228	
福岡	和栗　方子	茶	810-0053	福岡市中央区鳥飼1-6-45	092-761-3812	092-761-3812
長崎	河村紀美子	日女	850-0802	長崎市伊良林1-9-1	095-821-6628	
鹿児島	大久保美智子	日女	891-0103	鹿児島市皇徳寺台4-51-6	0992-65-6375	

社団法人 大学婦人協会理事・監事名簿 (2000年度)

役職名	氏名	出身校	〒	住所	電話 FAX
会長	山本　和代	日女・院	162-0853	新宿区北山伏町1-13	03-3269-0856 03-3269-0856
副会長	加藤　恭子	茶	154-0011	世田谷区上馬3-12-10	03-3421-0134 03-3421-0134
〃	杉森　長子	東女・東京院	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町2-45-9	0422-21-2855 0422-21-2855
書記	百束　礼子	奈女	191-0052	日野市東豊田1-43-12	042-583-7569 042-583-7569
〃	関口　瑞穂	実	251-0047	藤沢市辻堂3-9-32	0466-36-9525 0466-34-8288
会計	江口　昌子	日女	169-0075	新宿区高田馬場4-32-8	03-3367-0660 03-3367-0660
〃	中山　正子	日女	223-0057	横浜市港北区新羽町1871	045-541-2481 045-541-2481
財務	藤谷　文子	実	166-0013	杉並区堀ノ内1-15-33	03-3313-4055 03-3313-4057
国内奨学	金子　堯子	日女・東京院	213-0003	川崎市高津区瀬田11-3	044-833-3936
国際奨学	宮島　茂子	東女	168-0082	杉並区久我山3-8-19	03-3334-3769 03-3334-3769
科学研究奨励	島　美喜子	茶・筑・院	167-0053	杉並区西荻南3-19-13	03-3333-5705 03-3331-0663
国際	平野　和子	東女	157-0071	世田谷区千歳台1-13-4-106	03-3482-2964 03-3482-2964
国内NGO	五十嵐康子	津	155-0033	世田谷区代田4-33-4	03-3321-4462 03-3321-4462
教育	藤村久美子	コロンビア	194-0045	町田市南成瀬1-2-1 駅前ハイツ2-805	042-724-6616 042-724-6616
女性の地位	鈴木　伸子	日女・院	171-0014	豊島区池袋3-1-34	03-3984-5043
社会福祉	玉井美枝子	昭女	275-0017	習志野市藤崎6-13-5	047-472-1036
広報	鷲崎　千春	実	168-0065	杉並区浜田山1-7-14	03-3329-7723 03-3329-7723
会員	秋月　薫	茶	154-0011	世田谷区上馬3-13-14	03-3421-8503 03-3421-8503
東京支部	坂上栄美子	大女	206-0013	多摩市桜ケ丘2-18-11	042-374-0349 042-371-7091
監事	藤崎　久	東女	161-0032	新宿区中落合1-9-16	03-3951-0776 03-3950-6486
〃	根岸　愛子	東女・大阪・東京院	184-0013	小金井市前原町5-20-8	042-385-6132 042-385-6132

社団法人 大学婦人協会

一九九九年度 事業報告
二〇〇〇年度 事業計画

書記 鈴木 光子 百束 礼子

総務報告

組織（2000年3月1日現在）
会員 正会員 1861名（内本年度新会員81名）
賛助会員 7名
理事 18名
監事 2名
役員選考委員 7名
評議員 32名
支部部 32支部

事業
1. 1999年4月4日 第42回通常総会を岡山市、岡山国際ホテルにて開催
2. 定例理事会（月1回）を12回開催 議事内容に関しては、理事会記録として評議員（支部長）に送付し、必要に応じて、会報『JAUW』紙上で会員に報告
3. 4月12日 「理事及び監事異動届」を文部省に提出（本来、前年度に提出すべきであったが、定款変更の認可の遅延によるため）
4. 4月20日 国連総会第3委員会、第43回国連婦人の地位委員会について聞く会に山本会長及び五十嵐国際第二委員長が出席
5. 4月22日 平成11年度都民税均等割申告書・都民税均等割免除申請書を新宿都税事務所に提出 免除申請は認可された。
6. 5月15日 大学婦人協会守田科学研究奨励賞第1回贈呈式を東京ガーデンパレスにて開催 受賞者 2名
7. 5月28日 国立婦人教育会館・国際協力事業団・東京都教育委員会主催の国際シンポジウム「開発におけるジェンダーとエンパワーメント」に山本会長、加藤・杉森両副会長、平野国際第一委員長、五十嵐国際第二委員長が出席
8. 6月 大学婦人協会のホームページ開設 アドレス http://www3.tky.3web.ne.jp/~jauw/
9. 6月7日 文部省へ平成10年度の事業報告提出
10. 「女性と税制－社会保険料」研究会及び「女性のエンパワーメント－具現化された姿を探り普遍的な鼓動を見いだす」研究会への大学婦人協会若手会員育成金補助を行うことを決定
11. 7月3日 故守田純子氏より再度、1000万円の遺贈を受けた。
12. 7月9日 平成11年度民間社会教育活動振興費補助金交付申請書を文部省及び財団法人全日本社会教育連合会に提出
13. 7月16日 平成12年度民間社会教育活動振興費補助金事業計画書を補助事業名「女性のエンパワーメント－男女共同参画社会の確立をめざして－その3」として文部省に提出
14. 10月15、16、17日 文部省国庫補助事業全国セミナー及びUWA総会を開催 テーマ：「女性のエンパワーメント－男女共同参画社会の確立をめざして－その2」 会場：ヌエック（国立婦人教育会館） 参加者：国内 176名（来賓、会員及び一般参加者） 国外 30名 計 206名 セミナー決議事項は要望書の形にまとめ、関係省庁及び地方自治体に提出 報告書（和文・英文）を作成し、配布
15. UWA総会で集まった募金と神戸支部の募金を合わせた71、500円を、トルコ地震被災者への義援金としてIFUWへ送金
16. 11月5日 平成11年度公益法人概況調査票を文部省に提出
17. 11月14～18日 神戸で開催された「タバコと健康に関するWHO国際会議」に平野国際第一委員長がIFUW代表として出席
18. 11月26日 平成11年度「生涯学習・社会教育関係法人調査票を文部省に提出
19. 11月29日 IFUW会員を対象とした1999年度JAUW国外奨学生のテレサ・ハチャトリアン氏（アルメニア）が来日し、北里大学で研究を行った。
20. 2000年1月8日 会員相互の親睦をはかるため、「新春のつどい」をセンチュリー・ハイアットホテルにて開催
21. 1999年度国内奨学生に対する奨学金の贈呈式を1月8日「新春のつどい」の席上で行った。 国内一般奨学生 9名 大学院生 9名 学部生 5名 安井医学奨学生 1名 ホームズ奨学生 1名 社会福祉奨学生 5名
22. 1月13日 1999年度IFUW会費1、48 1、544円（12スイスフラン×18000名）をIFUW本部へ送金
23. 2月5日 2000年度予算案を理事会に於いて承認
24. 3月29日 平成11年度補助金事業実績報告書及び平成12年度事業計画書を文部省に提出

逝去会員
本年度逝去会員に対して、謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りする。

黒川 輝（東女）東京
谷 千枝子（日女）岐阜
真多ヨシエ（神女）神戸
佐藤 芙蓉（茶）東京
立花 節子（神女）神戸
木村 晴子（津・東京院）東京
白井 常（東女・京院・トロント院）東京
宮本 富美（奈女）奈良
水野上与志子（広女・日女）広島
安部 秀子（福女）熊本
稲本 英子（大女）京都
橋本真知子（日女）福岡

委員会報告

企画委員会 杉森長子

事業報告（1999年度）
平成11年度文部省国庫補助事業として、全国セミナーを企画し、実行した。詳細は「全国セミナー報告書」としてまとめ、平成12年3月15日に刊行し、文部省及び関係省庁、関係団体、公共施設、地方自治体、大学関係ならびに支部長各位に送付した。これに先立ち、平成11年12月21日には、セミナーで発表・討議された意見をまとめ、女性のエンパワーメントに関する決議書を作成し、要望書として関係省庁各位（男女共同参画推進本部長・内閣総理大臣、男女共同参画担当大臣・内閣官房長官、総理府男女共同参画室長、文部大臣、文部省生涯学習局長、文部省男女共同参画学習課長）に提出した。また全国各地の支部を通じて、各地方自治体に提出した。以下にセミナーの概要を報告する。

1. **セミナー・プログラムの概要**
テーマ：「女性のエンパワーメント－男女共同参画社会の確立をめざして－その2」
開催日：1999年10月15日・16日・17日
会場：国立婦人教育会館（埼玉県）
基調講演 「エンパワーメントのストラテジー」
講師：目黒依子氏（上智大学教授、国連婦人の地位委員会日本政府代表）
シンポジウム 「女性の人権－21世紀アジアの課題」
パネリスト：インド、ネパール、韓国、日本の各国大学婦人協会代表研究発表
UWAアジア諸国：バングラデシュ、ネパール、タイ、韓国
支部：愛知、茨城、神奈川、神戸、静岡
本部委員会：教育、国際第二、婦人の地位、ヤングメンバーズ
セッション
教育、健康、労働、暴力、社会保障、政策決定への参画、ジェンダー・フリーへの過程
全体討議

2. **企画の経緯**
本年度のセミナーは、アジア大学婦人連盟(University Women of Asia)の総会を兼ねるものとして企画され、実行された。そのため、企画委員会はアジア大学婦人連盟事務局と連携し、企画の実行にあたった。
企画委員会は本部理事及び支部会員6名をふくむ24名で構成され、毎月理事会開催日の午前中に会合を持ち、企画内容を検討した。企画委員会報告は、その都度、各支部長へ送付し、本部と支部との連携を密にし、セミナーの内容充実と円滑な運営を目指した。
セミナーの実施にあたり、実行委員会を設置した。茨城支部3名、神奈川支部1名、東京支部10名、ならびに本部から財務委員会3名、会員委員会4名、教育委員会1名、国際第一委員会2名、国際第二委員会3名等多くの支部や委員会の協力を得て、総勢30名で構成された。
なお、UWA事務局は、当会会長、副会長、財務委員長、国際第一委員長と委員（5名）の10名で構成され、顧問として中村ミチコ氏のご協力をいただいた。また通訳や送迎にあたっては、会員のボランティアはもとより、国立婦人教育会館登録のボランティアの方々にもご協力をいただいた。京都支部、栃木支部、東京支部には、セミナー終了後、UWA会員の旅行を支援していただいた。
UWA総会と連携した本年度のセミナーは、予想を超える事柄に、種々、直面しつつも、その都度、皆の知恵と協力により、それらの一つ一つを解決できた。セミナーの企画・実行のすべてにわたって寄せられた全国の会員の方々の熱意、実行委員やボランティアの方々の協力に感謝する。以下に経緯をまとめた。

◎文部省関係
3月31日 国庫補助金申請のため「事業計画書」を提出
6月28日 国庫補助金、2、200、000円の交付内定通知
7月9日 交付申請書の提出
12月21日 要望書提出
3月29日 報告書提出（平成12年）

◎企画委員会関係：企画委員会は総計8回開催された。（○は、UWA関係事項）
第1回（4月17日）：全国セミナーおよびUWA総会のプログラム内容ならびに研究発表のセッション設定、セッションのテーマを検討
○UWA総会事務局の設置、参加費、UWA各国への案内状の発送などを決定
第2回（5月8日）：基調講演の講師およびテーマの決定
○UWA事務局・企画委員会のメンバー決定
第3回（6月5日）：実行委員の役割分担について検討
第4回（7月3日）：セミナーのプログラムの詳細を検討 研究発表の申し込みは次のとおり
UWA7件、支部5件、本部委員会4件
第5回（8月7日）：セッションのテーマ追加、プログラムの担当者の決定
第6回（9月4日）：発表支部および委員会の題目・発表者の確定
○UWAからの参加人数、発表要旨、報告書用原稿依頼、広報活動などの報告
第7回（10月2日）：参加申し込み（国内・外）状況や、通訳ボランティアの担当の確定
第8回（11月8日）：決議文作成の検討とセミナーの反省

◎企画・実行合同委員会関係：企画委員会と実行委員会の合同の委員会は、総計3回開催された。
第1回（7月3日）：実行委員の役割分担と相互の打ち合わせ
第2回（10月15日）：セミナー前日の準備と各自担当の確認
第3回（12月4日）：セミナーの反省と今後に向けての意見交換

3. **参加者総数 206名**
来賓：3名、講師：1名
会員：UWAおよびIFUW関係者：30名、当会関係者：160名、非会員：12名（一般参加者6名、学生6名）

4. **企画委員ならびに実行委員**（50音順）
企画委員
山本 和代（会長）
杉森 長子（企画委員長）
加藤 恭子（実行委員長）
五十嵐康子 井口美登利
田中 正子 玉井美枝子
磯村 明子 伊藤 俊枝
井上 章子 江口 昌子
斉藤 智恵 鈴木 光子
高井 敬子 高田 素子
田中 正子 中山 正子
中村ミチコ 平野 和子
房野 桂 村岡 全子
山中 照子
鷲崎 千春
実行委員
秋月 薫 大森たへ子
河井 尚子 木村 和子
紅林みのり 駒木三枝子
斎藤由美子 坂上栄美子
柴崎 富子 関口 瑞穂
田中トモ子 中山 律子
縄田真紀子 西尾 順子
橋本津栄子 野崎 方子
平田 宏子 廣田 貞子
福田 文子 福田 満代
藤谷 文子 堀 美知子
牧野恵美子 松比良節子
松本由美子 松本 佳子
三澤 晴子 峯川 正子
村松 育子 山崎 邦子
待場田鶴子

事業計画（2000年度）

1. **国庫補助事業**
杉森 長子
過去2年間に行った調査・研究の成果に基づき、女性のエンパワーメントに対する障碍は何かを、これまで取り組んできた諸分野（教育、労働、福祉、政策決定など）において明らかにし、障碍を取り除くための諸策を検討し、各分野におけるエンパワーメントのストラテジーを具体的に提示する。
同時に、将来における活動の発展を視野におくならば、エンパワーメントのストラテジーとしては、幼児から成人まで生涯にわたる"男女平等教育"が"鍵"となることに着目し、家庭教育、学校教育、社会教育を含めた研究への可能性を提示できればよいと考える。

2. **研究会、ワーキング・グループ他** 加藤 恭子
(1) 昨年実施したアンケート調査により、教育問題を中心にした継続的な研究グループを発足させたいと考えている。全国からの会員の参加を歓迎する。
(2) 若手会員育成金によるヤングメンバーズグループの研究会は例年どおり募集する。
(3) 運営資金を補うための音楽会等を計画する。
(4) JAUWの会員の入会資格（学歴）及び現在の賛助会員について検討する。

財務委員会 井口美登利

事業報告（1999年度）

1. **委員会活動**
4月3、4日 バザー開催（第42回通常総会会場）
4月28日 第1回委員会（本年度活動・役割分担を決める）
5月12日 ランプの会（冨士国際13名）
5月19日 第2回委員会（本年度バザー取扱品検討）
5月13、20日 観劇会（新橋演舞場「スーパー歌舞伎 新三国志」35名）
6月2日 第3回委員会（観劇会打ち合わせ）
6月10、12、22日 観劇会（三越劇場「三越歌舞伎」66名）
6月22日 バスツアー（鎌倉45名）
7月7日 第4回委員会（ミニ・バザー打ち合わせ）
7月7日 勉強会（介護保険制度－1）
7月11日 ミニ・バザー（事務所）
9月1日 第5回委員会（勉強会打ち合わせ）
9月30日 第6回委員会（セミナー・バスツアー打ち合わせ）
9月30日 勉強会（介護保険制度－2）
10月16、17日 バザー（セミナー会場）
11月4日 第7回委員会（バスツアー打ち合わせ）
11月9日 バスツアー（奥秩父60名）
11月19日 ランプの会（桃里カントリー18名）
12月1日 第8回委員会（新春のつどい・観劇会打ち合わせ）
12月11日 観劇会（新橋演舞場「花あかり」59名）
1月6日 第9回委員会（新春のつどい・バザー打ち合わせ）
1月8日 新春のつどい（ホテル・センチュリーハイアット122名）
2月2日 第10回委員会（2000年度予算案・2000年度財務事業計画案検討）
3月1日 第11回委員会（1999年度の反省・総会バザー打ち合わせ）

2. **寄付状況**（2000年3月31日現在）
寄付金総額 2、594、758円
a. 寄付金（敬称略） 642、300円
○バスツアー 307、235円
○勉強会 9、000円
○観劇会 627、543円
○ランプの会 70、000円
○新春のつどい 152、978円
○会員寄贈品（バザー） 431、590円
○雑貨販売（バザー） 354、112円
○本部へ（2000年3月31日まで）入金 2、594、758円
b. 活動その他による寄付 1、952、458円
○アダチ財団 49、000円
○井上ジェムス 165、900円
○会員による現金寄付 427、400円
○新春のつどい 152、978円
○会員寄贈品（バザー） 431、590円
○雑貨販売（バザー） 354、112円
○本部へ（2000年3月31日まで）入金 2、594、758円

事業計画（2000年度）
1. バザー開催（総会及び新春のつどい）
2. バスツアーおよび旅行
3. 観劇会（三越劇場・新橋演舞場・明治座）
4. 音楽会
5. ゴルフ愛好会（ランプの会）
6. JAUW新春のつどい（2001年）
7. 2001年度予算案作成

国内奨学委員会 村岡全子

事業報告（1999年度）

1. **一般奨学・安井医学奨学・ホームズ奨学**
4月17日 理事会で今年度第52回一般奨学生の募集は大学院生9名（10万円、内1名は東京支部からの寄付による）、学部生5名（8万円）、第9回安井医学奨学生1名（30万円）、第45回ホームズ奨学生（奈良女子大学）1名（10万円）の贈呈の承認を得る。

5月22日　社会福祉委員長と共に委員会開催　今年度の国内奨学生選考のスケジュールを検討
6月3日　募集要項を61大学学長宛、および31支部長宛に発送　応募締切日は9月17日、ホームズ奨学生は奈良女子大学に推薦を依頼　会報194号に募集要項掲載
10月1日　応募者総数82名（一般奨学生大学院生45名、学部生34名、安井医学奨学生2名、ホームズ奨学生1名、合計64大学、12支部）
　選考委員に応募書類のコピーを送付
10月23日　選考委員会開催　杉森副会長出席のもと、選考委員全員により慎重選考審査の結果、奨学生候補者一般奨学生（大学院生9名（うち1名分は東京支部よりの寄付による）、学部生5名）安井医学奨学生1名、ホームズ奨学生1名を選出
11月6日　理事会で一般奨学生、安井医学奨学生、ホームズ奨学生の承認
11月17日　選考結果を応募学生、大学学長、支部長に通知
1月8日　ホテル・センチュリーハイアットにおける「新春のつどい」で奨学金贈呈式　奨学生10名出席　千葉大学工学部学生生活担当者出席　札幌支部、茨城支部、愛知支部、京都支部、奈良支部、神戸支部の各支部で授与式を行う。
2月1日　会報196号（選考経過および奨学生の小論文掲載）を奨学生と応募大学学長宛送付
2月5日　理事会で1月8日の贈呈式欠席者1名に賞状と奨学金を贈呈

2．大学婦人協会守田科学研究奨励賞

5月1日　選考委員会開催：第2回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞候補者募集要項の検討
5月15日　第1回「大学婦人協会守田科学研究奨励賞贈呈式・受賞講演・祝賀パーティ」を東京ガーデンパレスにおいて挙行
6月17日　第2回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞候補者募集要項を自然科学系学会誌14誌に掲載依頼（日本化学会、日本物理学会、応用物理学会、日本地震学会、日本地質学会、日本天文学会、日本生化学会、日本植物学会、日本動物学会、日本分光学会、日本農芸化学会、日本生物物理学会）
6月20日　会報194号に第1回「大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞候補者募集要項を掲載
7月3日　故守田純子氏令弟より1000万円の追加寄付を受ける。
7月31日　選考委員会開催：大学婦人協会ホームページに第2回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞候補者募集要項掲載検討
11月7日～15日　日本経済新聞、産経新聞、朝日新聞、読売新聞に第2回本賞募集記事掲載される。
11月30日　応募締切日　応募者総数6名
12月11日　選考委員会開催：応募者6名について選考審査の検討と担当を選考委員に依頼
　第2回大学婦人協会守田科学研究奨励賞贈呈式を2000年5月20日(土)ホテル・JALシティ四谷において開催することを決定
2月5日　理事会でこの奨励賞選考委員会を「科学研究奨励委員会」として新設し、理事をおくことが承認され、総会に諮ることを決定
2月20日　選考委員会開催：山本会長、加藤副会長出席のもと、選考委員全員により慎重選考審査の結果、受賞候補者2名を内定
3月1日　会報197号に第2回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞候補者2名を掲載
3月4日　理事会で第2回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞候補者2名を承認
3月6日　選考結果を応募者に通知

事業計画（2000年度）

1．一般奨学・安井医学奨学・ホームズ奨学
(1) 第53回一般奨学生の募集、選考
(2) 第10回安井医学奨学生の募集、選考
(3) 第46回ホームズ奨学生は順番として津田塾大学に推薦依頼
(4) 2000年度国内奨学金贈呈式の準備
2．大学婦人協会守田科学研究奨励賞
(1) 第2回贈呈式の準備、開催
(2) 第3回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞者募集要項の作成、学会誌・新聞等に掲載依頼
(3) 第3回大学婦人協会守田科学研究奨励賞の選考
(4) 第3回贈呈式の準備

国外奨学委員会　井上章子

事業報告（1999年度）

4月30日　応募締切　応募者はトルコ2名、アルメニア1名、韓国（在日）1名、計4名
5月8日　5月16日の選考委員会開催を理事会で承認される。
　IFUW、AAUWからの奨学生募集要項を翻訳して各支部へ送付
5月16日　選考委員会を会長、東京支部長と国外奨学委員によって開催　候補者としてアルメニアのテレサ・ハチャトリアン氏を推薦することに決定
6月5日　理事会でハチャトリアン氏推薦を承認同氏は北里大学医学部で研究する予定
7月3日　ハチャトリアン氏から奨学生になることを承諾する旨の文書届く。
10月2日　ハチャトリアン氏から、ビザ取得のためのInvitation送付の要請があった。加藤恵津子会員からの要請によりIFUWの奨学金応募の推薦の依頼状を送付
10月16日　ハチャトリアン氏から要請の前記書類を送付
10月26日　2000年度の国外奨学金応募書類を67カ国に送付
11月29日　ハチャトリアン氏来日
12月22日　ハチャトリアン氏のプレゼンテーションとティー・パーティを本部事務所で開催　30名参加
12月24日　ハチャトリアン氏帰国

事業計画（2000年度）

前年度に準じる。

国際第一委員会　平野和子

事業報告（1999年度）

1．IFUW関係
(1) 回状3／99～30／99、1／2000～5／2000、IFUWニュース、リンダ・スター会長からの手紙、国連機関および関係国際会議への代表からの報告などを翻訳して、役員、委員長、支部長に送付した。主な内容は、①IFUW創立80周年祝賀キャンペーンについて、②1999～2001年の3年期における研究・行動計画（SAAP）について、③会員増強について、④ビーナ・ロイなど開発援助計画について、⑤第27回オタワ総会のワークショップおよび研究発表への参加募集について、⑥「国際平和文化年」に寄せたIFUW平和綱領について。
(2) 7月15日　ビーナ・ロイPIDに20万円を寄金（一般目的に10万円。バングラデシュ、スリランカに各5万円ずつ）し、IFUW創立80周年祝賀財政キャンペーンへの参加を承認された。
(3) 「たばこと健康に関するWHO神戸国際会議」（11月15～18日神戸にて開催）に、平野がIFUW代表として出席し、グラーツ総会で採択された「たばこと健康に関する決議」の内容を女性による国際的な戦略を各国レベルと連携させた例として紹介した。
(4) JAUW英文リーフレットを作成（1000部）した。
(5) IFUW年会費支払いの際の会員数を1800名と据え置くことに決定
(6) IFUW創立80周年記念祝賀行事（3月25・26日、ジュネーヴにて開催）に、山本会長、加藤副会長ほか数名とともに、平野が参加
(7) インド大学婦人連盟創立50周年にあたり、UWA総会の概要、写真などの送付を依頼され、これに応じた。

第43回通常総会　山本和代会長挨拶

2．UWA関係
(1) 4月に発足させたUWA総会準備事務局（平野和子が事務局長）企画委員として、6名の委員が加わり、総会開催の準備にとりかかる。
(2) 4月28日　UWA加盟10カ国（日本を除く）およびIFUW本部、オーストラリア、ニュージーランド（オブザーバーとして参加を招聘）に総会プログラムを発送し、参加希望者数を知らせること、研究発表参加希望者のテーマと抄録を送付することを呼びかける。
(3) インド、韓国、シンガポールから併せて20名近い参加希望があったが、ほかの国から反応がないため、3カ国以外に再度参加を呼びかける（6月末）。タイ、バングラデシュ、ネパールから参加の意向が来信した。
(4) 7月19日　参加申し込み登録書と最終プログラムを発送し、最終的に、バングラデシュ(1)、インド(4)、韓国(16)、ネパール(1)、シンガポール(4)、タイ(3)のほかIFUW本部プロジェクト開発委員1名、合計30名が参加を決定した。
(5) 10月15～17日に開催されたJAUWセミナーとの連動によるUWA総会の準備、運営、会議後のツアーの企画、運営およびツアーとして、国際第一委員会委員が中心となって協力した。尚、会議後のツアーとして、栃木支部と京都支部の両支部会員が合計4名の外国人会員を歓迎し、交流をはかった。
(6) 英文の報告書の作成に協力して、加盟国、IFUW本部に送付した。
(7) インド大学婦人連盟創立50周年にあたり、UWA総会の概要、写真などの送付を依頼され、これに応じた。

3．人事交流
　コスタリカ大学婦人協会会長タイス・コルドバ氏が7月11日来日し、サロンJでコスタリカについての話をした。委員の案内で鎌倉、東京を見物したほか、京都を訪問し、同支部会員の暖かい歓迎を受けた。

事業計画（2000年度）

1．IFUWとの情報交換につとめ、来信文書を翻訳して会員への伝達をはかる。とくに、創立80周年祝賀キャンペーンへの参加を呼びかけ、2001年開催予定のオタワ総会に向けて準備にとりかかる。また、JAUWの活動についての情報を発信する。
2．UWA総会後のフォローアップとして、加盟各国連盟・協会との情報交換、連携につとめる。
3．IFUW加盟国連盟・協会の会員が来日した際の接待
4．JAUW会員がIFUW加盟国へ渡航する際、必要に応じて紹介業務にあたる。

国際第二委員会　五十嵐康子

事業報告（1999年度）

1．「国連NGO国内婦人委員会」
(1) 第54回国連総会政府代表団に西立野園子氏（大学婦人協会会員・東京外国語大学教授・汎太平洋東南アジア婦人協会副会長）を推薦、承認される。9／17歓送会　2／7国連報告会
(2) 第54回国連総会に際し、日本政府のステートメントに対する要望を外務大臣に提出
①性差別の撤廃
②女子差別撤廃条約選択議定書の批准と早期発効
③核兵器廃絶と平和政策への女性の参加
④女性に対する暴力の防止
⑤高齢者施策に女性の意見を取り入れる
⑥NGOの国連特別総会への参加
(3) 11／25　オマーン女性議員との懇談会（中村道子国連NGO国内婦人委員会委員長・房野桂IFUW会員委員会委員・五十嵐）
(4) ヨルダン・エジプト・パレスチナ女性交流　2／9～17　中村道子委員長出席
2．「国際人権規約完全実施促進連絡会議」
(1) 9／28　講演会「日本の人権状況」
　講師　海渡雄一弁護士
(2) 10／28　講演会「人権と国家主権とグローバリゼーションの要求するもの」
　講師　ブルーナ・ノタ婦人国際平和自由連盟会長
(3) 12／8　人権デーに際し、日本国内における人権問題を列挙し、それぞれの国連条約を批准し、留保条項をなくすよう関係省庁に要望書を手渡し、担当者に現状について質疑応答を行った。（野崎・五十嵐）
3．「国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会」
(1) 5／24　婦人年連絡会総会（野崎・峯川・五十嵐）
○常任団体に新たに大学婦人協会が加わり、15団体となる。山本会長が常任委員となる。
○「NGOレポートをつくる会」に連絡会として参加することを承認
(2) 婦人年連絡会全体会の主な活動
○4／21　男女共同参画社会基本法への対応について、各政党に要望を行う。
○国連特別総会「女性2000年会議」に向けて
①「日本NGOレポートをつくる会」によるNGOオルターナティブ・レポートを「アジア太平洋NGOシンポジウム」（8／31～9／3バンコク）に提出　中村道子世話人出席
②CONGO（国連経済社会理事会に協議資格を認められたNGOの連合）に加入
③CONGO　1999ソウル世界NGO大会ワークショップ（10／10～16）に房野桂会員が基調講演を行った。
④ESCAP高級担当官会議（10／26～29バンコク）中村道子・関口悦子・江尻美穂子3会員が連絡会代表として参加
⑤NGOロビーワークショップ（1／28、29カトマンズ）に房野桂会員出席
○国連人口会議準備委員会（5／5～7）及び特別総会（6／28～7／3）に房野桂会員が日本政府代表団顧問として出席
○ヒアリング「少子社会をどう考える」（9／30）
　講師：阿藤誠氏（国立社会保障・人口問題研究所副所長）
○WHO主催「たばこと健康に関する神戸国際会議」（11／15～18神戸）に連絡会から数団体出席
○第44回国連婦人の地位委員会（2／28～3／17）に房野桂・中村道子・関口悦子3会員出席
○2000年NGO女性大会（仮称）を、2000年11月18日(土)、千代田公会堂（約900名収容）において開催予定
　目的：「行動綱領」並びに95年のNGO日本女性大会で採択した「NGO行動目標」に照らしてその進捗状況の点検・評価と、21世紀に向けての今後の目標を明らかにする。
○「ユニフェム東京」の設立
○「女子差別撤廃条約選択議定書」の批准を政府（外務大臣）に要望する。
○12／8連絡会代表9名青木内閣官房長官（男女共同参画担当）表敬訪問（五十嵐（山本会長代理））
(3) 分野別部会の活動
＜政策方針参画＞
（担当：峯川・片岡）
○前回の統一地方選挙に於ける女性の進出度±、その原因を地方別に分析
○10／6「公職選挙法改正に関する要望」・「衆議院議員総選挙での女性候補者擁立の要望」を各政党へ持参、それぞれ方針を聞く。
○今後の取り組みとして各分野、職能団体等の女性の参画状況を調べ、比率引き上げのための計画の作成・実施について要望していく。
＜教育・マスメディア＞
（担当：横橋・林）
○女性の人権尊重、男女平等を進める立場でのマスメディアへの働きかけ。
○教育基本法、子どもの権利条約、女子差別撤廃条約に照らして新教育課程の改定に向けての行動
○男女平等を社会に根付かせるための社会教育の推進に向けての行動
○新聞社6社に「新聞制作に関する新聞社への要望」を提出
○「国連子どもの権利委員会の勧告にたいして文部省が学校教育でどう対応するかについての質問書」を有馬朗人文部大臣に送る。
＜労働＞（担当：手島・松比良・鍵山）
○5／21「労働者派遣法改正などの審議に関する要望」衆議院労働委員会に提出
○12／17「少子化への対応を考える有識者会議提言についての意見と具体的な施策の推進についての要望」のうち、予算編成の関係から施策の推進についてのみ、要望書として内閣総理大臣、労働省、厚生省と各政党に送付
＜家族・福祉＞（担当：野崎・田中・旦・望月）
○5／7「介護保険制度について」厚生省介護保険制度施行準備室補佐稲川武宣氏と面会、「介護保険制度に関する要望書」を提出　質問・要望への回答を聞く。
○5／11民法改正に関して陣内孝雄法務大臣に面会、要望
○7／1民法改正（選択的夫婦別姓・婚外子差別撤廃等）に関して、各党の議員の事務所を訪問、「民法改正を求める要望書」を手渡し、意見を聞く。
○年金制度改革　基礎年金部分に税金を入れることを要望
○11／16「女性に対する暴力」根絶に向けた取り組みに関する要望書を総理府内閣総理大臣官房男女共同参画室長大西珠枝氏に手渡し、意見交換を行う。
＜平和・環境・開発＞
（担当：斉藤・仲町）
○4／8「周辺事態関連法案に関する要望書」を内閣総理大臣及び各政党党首へ送付
○7／22国旗国歌法案についての要望書を総理府、各政党、内閣委員会各委員に提出
○10／25「東海村核燃料加工施設の臨界事故に関する要望」を内閣総理大臣に提出
○3／28憲法調査会に所属する女性議員の話を聞く会
○核廃絶問題に関して要望書を提出予定
＜ユニフェム＞
（担当：中村・斉藤）
○11／5国連ユニフェムが制作した女性に関する暴力に関するビデオの上映と写真パネル展示を行

う。
○「ユニフェム東京」設立に関して準備委員会発足
設立総会：2000年4月8日(土) 於：国際文化会館講堂

4. 他団体主催行事

(1) 4／20「国連総会第3委員会、第43回国連婦人の地位委員会等について」聞く会
えがりて主催（山本会長・中村委員・五十嵐）

(2) 5／28国際シンポジウム「開発におけるジェンダーとエンパワーメント」
国立婦人教育会館（NWEC）・国際協力事業団（JICA）・東京都教育委員会主催（山本会長・杉森・加藤両副会長・平野国際第一委員長・五十嵐）

(3) 6／17東アジア女性問題国内本部機構上級担当官会議
②欧州評議会(EC)ジェンダーメインストリーミング会議について報告
(4) 7／25第11回国際女性技術者・科学者会議公開シンポジウム
(5) 11／9「ESCAPハイレベル政府間会議等について聞く会」総理府主催（五十嵐）
①ESCAPハイレベル政府間会議について報告
国連婦人の地位委員会日本代表目黒依子氏
於：国際協力事業団（中村）

(6) 2／9平成12年度国の女性関係予算を聞く会（野崎・五十嵐）
主催：(財)市川房枝記念会・日本婦人有権者同盟

5. 1999年度セミナーに参加

テーマ「乳幼児期の人格形成の問題」－女性のエンパワーメントこそが解決の道－
○セミナー準備として9月9日柏木恵子日本発達心理学会理事長・白百合女子大学教授の講演会を会員、非会員に公開で行う。
題「社会変動と家族－男性・女性－」

6. 委員会 11回

事業計画（2000年度）
1. 関係諸団体（国連NGO国内婦人委員会」「国際人権規約完全実施促進連絡会議」「国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会」）との連携を密に保ちながら、2000年も積極的な活動を続ける。
○2000年11月18日の「2000年NGO女性大会（仮称）」に積極的に参加
2. 2000年度セミナーに参加予定
3. 本部の他の委員会との交流を密にし、共同企画を考える。
4. ホームページを活用して委員会の活動状況を広く知らせる。

事業報告（1999年度）
1. 定例会及び全国セミナー・UWA総会関係
4月19日 IFUW研究・行動計画（SAAP）1999－2000年「グローバリゼーション：教育を通しての共生」の勉強会
5月7日 全国セミナーに向けて調査・研究「女性の職業継続とエンパワーメント」について話し合い
5月18日 均等法1期生の女性（2名）にインタビュー調査を実施
6月25日 インタビュー調査（3名）を実施 同日夜に委員会を開催し、郵送によるアンケート調査対象の検討 大学及びJAUW会員の紹介を通じて行うことに決定
6月28日 2大学の、それぞれ就職進路課と同窓会に協力を依頼し快諾を得る。
7月12日 アンケート調査の郵送作業
8月2、3日 回収した調査票の集計作業
8月16日 調査の集計結果を持ち寄り、内容の検討
9月10、13、20日 全国セミナー発表原稿の打ち合わせ
10月17日 全国セミナーにて研究報告発表（海老原典子委員）
「女性の職業継続とエンパワーメント」
高田委員長がセッション3「労働／社会保障／ジェンダー・フリーへの過程」の司会を担当
10月22日 セミナーの反省と報告書原稿の打ち合わせ
1月19日 七婦人団体議会活動連絡委員会の活動について話し合い
3月15日 「女性と仕事の未来館」見学会の開催
3月末日 今年度の反省と懇談

2. IFUW関係
6月5日 IFUWメンバーによる第43回国連婦人の地位委員会（1999・3／1～3／19）報告を英訳 理事会にて配布
11月6日 IFUW婦人の地位委員会コンビーナー（アン・ローニング）より回状（1999・9・24）を英訳 理事会にて配布

3. 七婦人団体議会活動連絡委員会関係
当委員会より若井、海老原委員が出席し、会計を担当
99年度も七婦人団体の名称のまま、4団体（婦人国際平和自由連盟日本支部・日本婦人有権者同盟・全国地域婦人団体協議会・大学婦人協会）で活動を続けた。
◎定例会と行事の開催
4月9日 婦人参政権行使記念「婦選会議」の開催（パネルディスカッション）
「知事選は政党の私物ではない－私たちの一票で平和と福祉を－」
後援（財)市川房枝記念会
11月8日 婦人参政権獲得54周年記念集会（12月17日）開催のための準備会
12月17日 同記念集会の開催（パネルディスカッション）
「議会制民主政治における女性議員の役割－自自公連立の現状において－」
2月28日 婦人参政権行使記念「婦選会議」（4月10日）開催のための準備会
3月27日 「各党に政策を聞く会」の開催（ストップ・ザ・汚職議員の会、「新ガイドラインに反対し、平和憲法を守る市民と団体の会」との共催）

事業計画（2000年度）
1. 女性の地位向上を目的とする調査・研究活動 全国セミナーでの研究発表に向けての準備を進める。
2. IFUW婦人の地位委員会を通じて国連婦人の地位委員会（雅楽鑑賞、能楽鑑賞など3回の学習会を予定

婦人の地位委員会　高田素子

事業報告（1999年度）
障害を持つ女子学生への支援のための活動として、
(1) 社会福祉奨学金を札幌、愛知、京都の各支部推薦の方々と東京地区の大学推薦の方々合計5名に贈呈
(2) 講演会開催
演題「アイメイト〝エリック〟と生きる」
(3) 点字図書館の見学会などを実施
4月24日 東京支部総会にて社会福祉委員会の活動を紹介し、委員募集
5月22日 国内奨学委員会と一緒に今年度の奨学生募集について相談
第1回委員会 新メンバーの紹介、今年度の活動計画についての検討、99年度社会福祉奨学生募集に関する年間スケジュールについての相談
6月3日 99年度奨学生募集要項の準備および発送
6月19日 第2回委員会 理事会報告、全国セミナーについて、本年度の活動状況の具体的な検討、高齢社会と福祉についての意見交換
8月7日 第3回委員会 JAUWホームページ開設にともない社会福祉委員会の紹介内容・要領などについての相談
10月4日 奨学生の応募書類を点検し、選考委員に全応募書類のコピーを送付
10月16、17日 全国セミナーの期間中「11月13日開催予定の講演会」の宣伝のためのチラシを配布
11月10日 選考委員会開催 応募者は6名（全員学部学生）5名を推薦
第4回委員会 新春のつどいおよび奨学金贈呈式、社会福祉委員会主催の講演会（11月13日）について相談
11月6日 理事会において奨学生の承認
11月10日 選考結果を応募学生・大学学長・支部長に通知
11月13日 講演会 「アイメイト〝エリック〟と生きる」
講師 三村栄子さん（96年度社会福祉奨学生）
第5回委員会 講演会の反省、奨学金贈呈式当日の役割についての相談
1月6日 国内奨学委員長と贈呈式の準備、贈呈式欠席者に奨学金と賞状を送付
1月8日 「新春のつどい」において奨学金贈呈式
2月9日 会報196号（選考経過および奨学生の小論文掲載）を奨学生と応募大学の学長宛に発送
2月16日 日本点字図書館の見学
3月2日 第6回委員会
本年度の反省、来年度の計画

事業計画（2000年度）
1. 社会福祉奨学金の贈呈
2. 障害を持つ女子学生への支援に関する活動
3. 高齢者、障害者との明るい共生社会の発展のための活動

教育委員会　田中正子

事業報告（1999年度）
1999年度は以下の二つの事業を行った。
1. 学校教育における性教育の現状に関する調査
教科書では性教育がどのように扱われているか、女性の健康の視点から、教科書の記述調査を行い、また教師たちの活動を知るために性教育学会を取材した。
調査は小学校の保健体育、家庭科、中学校の保健体育、高等学校の保健体育、一般家庭、倫理、生物の複数出版社の各教科書について行った。調査結果は全国セミナーで発表した。
2. 「留学生と日本文化を学ぶ会」を発足させた。
会の目的は、留学生に日本古来の文化を紹介し、ともに学ぶことで、留学生との友好・文化的な相互理解を深めることである。2年前の「教科書にみる平和教育」調査の実践的結論として生まれた。今年度この会に参加している留学生は20名、協力会員は105名である。
(1) 「源氏物語の音楽」（雅楽と古楽器の演奏）
(2) 能楽鑑賞
(3) 十二単の着付け体験、の3回の催し物に留学生を招待した。

事業計画（2000年度）
委員長交替のため未定
留学生と日本文化を学ぶ

社会福祉委員会　玉井美枝子

事業報告（1999年度）
10月23日 選考委員会開催 応募者は6名（全員学部学生）5名を推薦
第4回委員会 新春のつどいおよび奨学金贈呈式、社会福祉委員会主催の講演会（11月13日）について相談
11月6日 理事会において奨学生の承認
11月10日 選考結果を応募学生・大学学長・支部長に通知
11月13日 講演会 「アイメイト〝エリック〟と生きる」
講師 三村栄子さん（96年度社会福祉奨学生）
第5回委員会 講演会の反省、奨学金贈呈式当日の役割についての相談
1月6日 国内奨学委員長と贈呈式の準備、贈呈式欠席者に奨学金と賞状を送付
1月8日 「新春のつどい」において奨学金贈呈式
2月9日 会報196号（選考経過および奨学生の小論文掲載）を奨学生と応募大学の学長宛に発送
2月16日 日本点字図書館の見学
3月2日 第6回委員会
本年度の反省、来年度の計画

事業計画（2000年度）
1. 社会福祉奨学金の贈呈
2. 障害を持つ女子学生への支援に関する活動
3. 高齢者、障害者との明るい共生社会の発展のための活動

報道委員会　鷲崎千春

事業報告（1999年度）
会報『JAUW』発行（4回）
本年度の当協会の事業と活動の報告、UWA総会関連記事、アンケート調査集計などを編集、次のとおり発送
194号（10頁）1999年6月20日発行 各支部宛送付
195号（4頁）1999年11月25日発行 各会員宛送付
196号（6頁）2000年2月1日発行 各支部宛送付
197号（2頁）2000年3月1日発行 各会員宛送付

事業計画（2000年度）
会報『JAUW』(198号～201号）発行の予定

会員委員会　磯村明子

事業報告（1999年度）
1. 会員の現状把握
2. 会費納入の推進
3. 会員の増強
4. 「サロンJ」を開催
於：事務所
第1回 7月13日(火)
(1) お話「世相を反映して－調停から」
富樫絢子会員
(2) タイス・コルドバさんを囲んで コスタリカ大学婦人協会会長
第2回 9月16日(木)
(1) お話「シャボン玉 その黒い膜に魅せられて」
山中照子会員
(2) リフォーム「おしゃれスカーフ」鷲崎千春会員
第3回 11月19日(金)
お話「私とJAUWとのかかわり」
藤崎久子会員
第4回 3月17日(金)
お話「私の好きな俳句－凡兆の句など」
伊藤俊技会員
5. その他 パソコンのワーキンググループに協力して新しいパソコンに全会員のデータを入力
「サロンJ」を開催予定

事業計画（2000年度）
1. 会員の現状把握
2. 会員の増強
3. 会費納入の推進
4. 6月、10月、3月に

支部報告

小樽支部

会員数 41名
支部会費 2500円

事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
4月17日 支部総会
4月26日 北海道男女共同参画プラン推進協議会理事会（支部長出席）
5月15日 第1回役員会
第1回自然・文化・歴史を訪ねる会（天神山）
5月20日 北海道男女共同参画プラン推進協議会代表者会議（支部長出席）
女性問題研究講座（支部長他2名出席）
6月10～15日 第3回かな書道講座作品展
7月15日 北海道女性プラザ祭実行委員会（支部長出席）
7月17日 第1回例会（パステルで花を描いてみよう！ 財務委員会担当）
7月31日 第2回自然・文化・歴史を訪ねる会（江別市・河井寛次郎展を観る）
8月21日 第2回役員会
10月9日 第2回例会
（座談会「結婚事情－過去・現在・未来－」提言者：婦人の地位委員及びミニ・バザー 婦人の地位・報道委員会担当）
10月11日 第3回自然・文化・歴史を訪ねる会（小樽市）
10月16、17日 絵を描く会
（出口好子副支部長・橋本素子監査出席）
10月21日 北海道女性プラザ祭実行委員会（支部長出席）
11月10日 北海道女性プラザ祭 女性問題研究講座（支部長他2名出席）
11月13日 第3回役員会
11月27日 第3回例会
（「日本人が英語を取得する際の難しさについて」
「国連派遣の経験から－1ドルの重み－」
岡田圭子会員・荻麻里子会員による講演 国際委員会担当）
絵を描く会
12月4日 男女共同参画推進石狩地域セミナー（支部長他2名出席）
12月22日 北海道男女共同参画プラン推進協議会理事会（支部長出席）
1月15日 支部新年会・奨学金伝達式
本部奨学生 王 佳敏（北海道大学大学院歯学博士課程3年）
泉川加奈（北星学園大学文学部4年）
1月29日 絵を描く会
1月31日 男女共同参画推進シンポジウム（支部長他3名出席）
2月5日 第4回役員会
第4回例会（全国セミナー報告と歓談 役員会担当）
2月19日 絵を描く会
3月18日 第5回役員会
各委員会の活動
1. 財務委員会 古典輪読会、かな書道講座、俳句同好会、第1回例会担当
2. 国際委員会 第3回例会担当
3. 婦人の地位委員会 第2回例会、ミニ・バザー担当
4. 報道委員会 JAUW SAPPORO ミニ・ニュース（120～123号）発行 ミニ・バザー担当

事業計画（2000年度）
1. 各委員会担当による例会、各講座の継続
2. ミニ・ニュースの発行
3. その他は4月の支部総会、役員会で協議

函館支部

会員数 11名
支部会費 3000円

事業報告（1999年度）
5月29日 支部総会
7月17日 今年度の研究テーマを「南北海道における幼児教育の研究」に決定
9月18日 函館貞信保育園園長山本三洋子氏、奥山教諭に養育の実態を聞き子どもの個性を守りながら熱心に体当たりで養育している姿に感銘を受けた。
11月20日 幼児の絵本の研究者森由美氏に絵本の幼児にもたらす影響、効果を聞き、私どもによりよい心の栄養になった。
1月22日 函館短期大学付設幼稚園園長村上歌子氏の講話を聞く。
3月15日 本年度の反省

事業計画（2000年度）
5月 支部総会
7月 前年度よりの研究のテーマ「幼児教育について」の研修
9月 芸術鑑賞
11月 幼児教育についての研修
1月 新年会
3月 今年度の反省、来年度計画の具体的方法について

秋田支部

湊 則子

会員数 36名
支部会費 2000円

事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
会計監査
4月19日 事務局会議
4月24日 支部総会
5月22日 支部総会
5月24日 支部総会欠席者に支部総会報告（No.1）送付
6月12日 施設（感恩講・聖園天使園）から高校へ進学の女子2名に入学祝い金贈呈
6月17日 国内奨学生候補者推薦依頼を関係大学へ届ける。
6月24日 ハーモニーネットワーク代表者会議で支部長活動状況報告
8月23日 CCWA国際精神里親会へ寄付金送金
9月12日 第1回研修会
「介護保険について」
講師 幸坂 徳子氏
市福祉保険部介護保険準備室
9月15日 支部会報告（No.2）送付
9月21日 研修会参加者よりトルコ大地震へ義援金を募り、送金
10月21日 県女性少年室主催「仕事と家庭を考える月間」協賛広告（毎日新聞）
10月22日 男女共同参画フォーラムのワークショップ・トークトーク・受付係など多数参加
11月11、12日 ネットワーキング1999に参加
JAUW紹介展示（設立目的・組織IFUW～支部・活動等）
支部報告（五十年史・他）、バザー、体験コラージュ参加
11月15日 CCWAより台湾大地震被害者救援募金の連絡があり、送金
11月20日 第2回研修会
「仕事を通してのエンパワーメント」
講師 新開 昇子氏
（株）松屋 専務取締役
11月25日 支部報告（No.3）送付
1月6日 本部からの決議事項を県青少年女性課、市社会事務所等に要望

1月30日　新年会　岩見容子会員講師による押し花の箸袋作り、会食と交歓
2月3日　支部報告（No. 4）送付
3月28日　ビーナ・ロイ開発援助プログラムへ寄付送金
3月31日　支部会報第8号発行
　前記以外にも他団体の事業に会員多数参加協力をしている。
事業計画（2000年度）
1. 支部総会
2. 入学祝い金の贈呈
3. 研修会（2回～3回）
4. JAUW全国セミナー参加
5. 親睦会
6. 国際支援協力
7. 秋田市ネットワーキング参加
8. 他団体との協力
9. 支部会報発送（4～5回）
10. その他支部総会で決定

仙台支部

藤崎千代子

会員数　34名
支部会費　3000円
事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
4月27日　役員会
5月13日　支部総会
　講演「ルノワール展」
　講師　西村勇晴氏
5月13日　宮城県各種女性団体連絡協議会　役員会
6月2日　宮城県各種女性団体連絡協議会　平成11年度総会
6月11日　宮城県美術館「ルノワール展」鑑賞・講演
7月9日　第2回読書会
　林道義著「主婦の復権」を読む
7月23日　支部例会
　講話「シルクロード」
　飯岡絹子会員
9月3日　県主催ネットワークフェスタ'99
　講演「エプロンはずして　夢の山」聴講
　講師　田部井淳子氏
　第5分科会「国際交流」参加
9月7日　役員会　今後の活動及び行事について
9月10日　第3回読書会
　桜井よし子著「日本の危機」を読む
10月8日　研修会　県薬用植物園の見学
11月14日　県主催こころのフォーラム・236参加
　「いま、大人が変われば、子どもが変わる」
11月25日　男女共同参画社会基本法制定の勉強会（県主催）参加
　講演　大沢真理氏
12月3日　宮城県各種女性団体連絡協議会　機関誌発行編集委員会
2月2日　支部新年会　浅野知事を囲んで
3月3日　支部例会
　講話　ウィルヘルム菊江会員
事業計画（2000年度）
5月　支部総会
＊支部例会・研修会その他を支部総会・役員会で協議

福島支部

斎藤　洋子

会員数　15名
支部会費　2000円
事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
4月22日　教養講座「3人の総理大臣の話－21世紀の人間像－」聴講
　講師　岡野加穂留先生
　明治大学教授
5月11日　中村富十郎歌舞伎舞踊公演鑑賞
6月19日　支部総会
10月22日　新作能「空海」鑑賞
11月1日　「荘司福－自然の哲理を求め－」展鑑賞
12月2日　教養講座「日本の未来を開く縄文のこころ」聴講
　安田喜憲先生　国際日本文化研究センター教授
事業計画（2000年度）
1. 留学生との交流会開催
2. 会員増加活動
3. 支部総会開催
4. その他必要に応じ会を開催

新潟支部

田中　和子

会員数　96名
支部会費　2000円
事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
4月24日　支部総会
5月22日　5月例会
　講演「男女共同社会の確立をめざして」
　講師　小林妙子会員　前新潟県女性政策課課長
6月26日　6月例会
　ビデオ上映　NVC新国際ボランティアセンターのベトナム支援活動（国際交流部）
7月24日　7月例会
　講演「人権教育の現状と課題」教育の場における男女平等について
　講師　高橋正利氏　新潟市立五十嵐中学校校長
8月28、29日　新潟市消費者協会主催不要品交換会に参加（財務部）
9月25日　9月例会
　研究部の研究方針・研究内容についての協議
10月16、17日　全国セミナー・UWA総会参加
10月30日　親睦旅行
　秋山郷と国宝笹川遺跡を訪ねて（親睦部）
11月27日　11月例会
　講演「高齢者福祉のあり方について」介護保険制度に関連して
　講師　斎藤俊至氏
　新潟市保健福祉部　高齢者福祉課課長補佐
11月30日　発展途上国女子学生への支援（奨学金1名に贈呈）於：ベトナム（国際交流部　高橋節子会員：NVC代表）
12月11日　忘年会
1月22日　第50回奨学賞を贈る会　受賞者25名
2月21日　懇談会
　山本和代会長を囲んで
3月4日　2月例会（国際交流部）
　講演「ベトナム漁村部における女性の暮らし」－フィールドワークから－
　講師　加藤　緑氏　東北学院大学大学院在学中
＊役員会　9回、4部会担当者の打ち合わせ数回
＊他団体事業への参加・協力　新潟県女性財団、新潟県・市消費者協会、にいがた女性会議、新潟県・市国際交流協会、その他
事業計画（2000年度）
4月　支部総会
＊例会（5月以降8月を除く毎月第4土曜日午後）、奨学賞を贈る会、小旅行、バザー等、支部総会で詳細を決定

茨城支部

松本由美子

会員数　72名
支部会費　2000円
事業報告（1999年度）
◎支部主催事業
4月4日　通常総会出席
4月14日　「茨城の歴史講座」開講（毎月第2水曜日）
　講師　川俣英一先生
4月24日　支部総会
　講話「平和教育について」
　講師　本部教育委員会　田中正子委員長
6月5日　全国セミナー準備会　テーマなど決定
6月16日　「源氏物語」講座開講
　講師　橋本静江先生
6月19日　支部定例会を兼ねて
　いばらき国際女性会議にてワークショップ「子育てサポート」開催
7月3日　全国セミナー企画・実行合同委員会出席
7月9日　全国セミナー打ち合わせ
7月24日　全国セミナー調査研究　以後3回
7月28日～8月20日　全国セミナーアンケート調査用紙配布
10月3日　全国セミナーに向けて支部主催パネルディスカッション
　「女性への暴力－その背景を探る」開催
10月15～17日　全国セミナーに参加および研究発表
12月4日　全国セミナー企画・実行合同委員会出席
12月11日　支部定例会
　講話と話し合い「介護保険－国際比較」
1月29日　支部新年会
3月　支部定例会
＊その他　役員会7回、「支部だより」4回、お知らせ2回
◎共催事業・協力事業
4月23日　茨城県女性団体連盟総会
5月11日　茨城女性週間のつどい
6月19日　いばらき国際女性会議・国際協力セミナー
6月24日　消費問題を考えるつどい
7月16日　茨城県消費者大会
7月17日　文部省委嘱事業　博士号取得祝賀会
10月18～20日　シンガポール・バングラデシュ・ネパールからのUWA総会参加者各1名の日光観光等案内
10月18日　アジア3カ国UWA会員歓迎会
10月29日　研修旅行　那須の山に一人住まいをしている83才女性を訪ねて
11月19日　栃木支部奨学生選考会議
11月25日　国立婦人教育会館公開講座「国際フォーラム」
12月18日　栃木支部奨学賞贈呈式
1月31日　支部だより発行
2月12日　新年会
　相羽照代会員勲五等瑞宝章叙勲祝賀会（調停委員功労）
3月13日　新市長訪問
　他に、三役会、支部史編集委員会等
事業計画（2000年度）
＊支部総会で決定

群馬支部

北爪江美子

会員数　8名
支部会費　1000円
事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
5月15日　支部総会
5月18日　群馬県各種婦人団体連絡協議会出席
6月22日　支部研修会　私立清心幼稚園（前園長＝支部会員）の母の会（ボランティアサークルと共催）
　講師　植原映子支部会員
　講話「私のボランティア体験記」
9月15日　'99三県女性サミット「男女共同参画社会の創造－心豊かに生きる女と男－」に参加
12月4日　新入会員歓迎会
1月13日　群馬県各種婦人団体連絡協議会出席
3月18日　支部総会
3月22日　知事と女性団体との懇談会出席
事業計画（2000年度）
＊支部総会で検討・決定
　次の2点を事業計画の中に盛り込みたい。
①社会への奉仕活動の実践
②自治体・地域の婦人団体主催の研修会等に積極的に参加

長野支部

森　かをる

会員数　17名
支部会費　1000円
事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
4月4日　支部総会
6月13日　支部総会
　小布施町の歴史と自然観察
11月6日　例会
　講演「フィンランドの福祉と女性」－日本との比較から－
　講師　田中美里氏
　長野県短期大学講師
　「福祉・家族・女性」について話し合い
1月16日　例会　講演と話し合い
　講演「行ってみたキルギス共和国」－日本キルギス友好協会の旅に参加して－
　講師　三田コト会員　長野県短期大学名誉教授
3月11日　例会　老人福祉施設（ケアハウス・老人保健施設）見学と話し合い
事業計画（2000年度）
＊支部総会で決定

東京支部

高井　敬子

会員数　532名
支部会費　3000円
事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
4月24日　支部総会
　記念講演「主役交代の時代－個人が主役の時代－」
　講師　坂本春生氏
5月12日　講演会　「フィリピンスラムの現状について」
　講師　シスター加藤
6月12日　見学会　東京都清掃施設半日コース
6月30日　見学会　東京都清掃施設一日コース
7月1日　支部会報『ともしび』第26号発行
7月25日　ICWES－11公開シンポジウムに参加
　テーマ　「地球環境に果たす女性の役割」
9月29日　講演会「源氏物語」
　講師　秋山　虔氏
10月15～17日　全国セミナー・UWA総会参加
11月24日　講演会　「ゴミ問題－ゴミの減量化－」
　講師　渋谷謙三氏
1月8日　新春のつどい
　国内奨学金贈呈（国内奨学委員会・社会福祉委員会と共催、奨学金の一部として10万円寄付）
2月23日　講演会
　「Message From Mariko－新しいミレニアムを迎えて－」
　講師　マリコ・テラサキ・ミラー氏
3月1日　支部会報『ともしび』27号発行
＊委員会：毎月第2水曜日
＊バザー：奨学金などのための活動資金を得るため
＊サークル：英語講座・東京漫歩クラブ・源氏物語を読む会・楽しい俳句会
＊他に、季節の花を楽しむフラワーアレンジメント
＊社会奉仕・留学生相談室への寄付（5万円）
　中野盲人自立センターへの寄付（使用済み切手及びカード）
事業計画（2000年度）
4月22日　支部総会
　記念講演（和泉流狂言師　和泉淳子氏の講演）
7月1日、3月1日　支部会報第28・29号発行
9月下旬　国内奨学生に3大学より、学部生3名、大学院生2名の応募があり、それぞれ1名ずつ国内奨学委員会へ推薦（岩元・菊地・松比良担当）
10月15～17日　全国セミナー・UWA総会に参加および研究発表
　「子育て支援は女性のエンパワーメント」
　発表者　岩元もと子委員
11月17日　例会　NTT横須賀研究開発センターとドコモ&Dセンター見学
12月4日　例会
　講演会「これからの女性労働」
　講師　浅倉むつ子先生
　都立大学教授
　静岡支部と共催
　夕方より、持ち寄り忘年会
1月8日　新春のつどいに参加
2月19日　例会　国内奨学生応募者・推薦者との交流会
3月18日　例会　フリーキングの会
　参考　かながわ女性会議への協力
(1) 10月30日　かながわ女性センター秋のフェスティバルにおける、かながわ女性会議ワークショップ「不安定雇用について（メリーランド州女性会議・韓国などと）
(2) 11月3日　かながわ女性会議・メリーランド州女性会議共催シンポジウム「介護者・被介護者双方の幸福を求めて」
(1)、(2)両日　飯塚恵子・田村真知子会員が通訳の奉仕
　他に数名ワークショップおよびシンポジウムに参加
(3) 2000年1月16日　新春コンサート「岡村喬生　歌の旅」に多数参加
事業計画（2000年度）
4月22日　支部総会
　支部総会以後、新執行部で決定される。

静岡支部

越村とくゑ

会員数　73名
支部会費　2000円
事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
4月24日　支部総会
　講演会「学校図書の現状」村上淳子会員
5月29日　セミナーのための学習会開始　以後10回
　テーマ「女性の政策決定への参画－ネットワーキングを見直す－」
8月21日　静岡県女性総合センター交流会議主催
　「県民の日」物語&「フェスティバル」参加
8月28日　公開講演会
　「女性の政策決定への参画－ネットワーキングを見直す－」
　講師　笹倉尚子氏
　フリージャーナリスト
10月15～17日　全国セミナー・UWA総会に参加および研究発表
　発表者　鈴木キミエ会員
　開発教育のための講演会（3回シリーズ）
11月29日　第1回「ネパール事情」
　講師　伊藤克彦氏
　ヒマール物産KK
2月19日　第2回「外国人労働者の現状」
　講師　ジャンジーラ前山氏　常葉学園大学大学院講師
3月4日　第3回「途上国の女性に支援の手を」
　講師　安部陽子氏
　ユニフェム常任理事
12月4日　講演会「これからの女性の労働について」
　講師　浅倉むつ子氏
　都立大学教授
　神奈川支部と共催
1月15日　支部新年会
◎対外活動・その他
＊静岡県女性総合センター交流会議、静岡県女性団体代表者連絡会議、ユニフェム国内委員会所属
＊曹洞宗国際ボランティア会・シャプラニール（市民による海外協力の会）支援

＊楽寿の園奉仕 毎月1回
＊役員会 隔月開催
事業計画（2000年度）
4月22日 支部総会
2000年度計画を決定する。
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
4月25日 支部総会
記念講演「親と子の心のアンテナ－非行を通して少年が訴えるもの－」
講師 山田仁子氏 名古屋家庭裁判所調査官
5月30日 第1回例会
講演「アジアの女性指導者の政治参画」
講師 明石陽至氏 南山大学名誉教授
6月20日 第2回例会
講演「大学教育とジェンダー－アメリカの経験を中心に」
講師 藤本哲史氏 南山大学助教授
7月25日 第3回例会
講演「平等主義か差異主義か－ボーボワールの『第2の性』から50年」
講師 浜名優美氏 南山大学教授
9月26日 第4回例会
講演「シェークスピアの女性観とダイアナ妃の悲劇」
講師 大橋 勇氏 愛知教育大学名誉教授
10月15、16、17日 全国セミナー・UWA総会に参加および研究発表
共同研究（林依里子会員、柳堀朗子会員）
「女性のエンパワーメントの環境整備としての男女共同参画社会－現代学生気質から男女共同参画社会の未来を探る－」
発表者 林依里子会員
10月21日 親睦バス旅行
田崎真珠本社、白鶴美術館、香雪美術館
10月23、24日 16th国際協力ふれあいフェスティバル参加
12月12日 能・狂言鑑賞会
能「山姥」狂言「胸突」
1月16日 新年会（お話と午餐会）

愛知支部

泉 ひさ

会員数 64名
賛助会員 2名
支部会費 2000円
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
4月25日 支部総会
記念講演「親と子の心のアンテナ－非行を通して少年が訴えるもの－」
講師 山田仁子氏 名古屋家庭裁判所調査官
5月30日 第1回例会
講演「アジアの女性指導者の政治参画」
講師 明石陽至氏 南山大学名誉教授
6月20日 第2回例会
講演「大学教育とジェンダー－アメリカの経験を中心に」
講師 藤本哲史氏 南山大学助教授
7月25日 第3回例会
講演「平等主義か差異主義か－ボーボワールの『第2の性』から50年」
講師 浜名優美氏 南山大学教授
9月26日 第4回例会
講演「シェークスピアの女性観とダイアナ妃の悲劇」
講師 大橋 勇氏 愛知教育大学名誉教授
10月15、16、17日 全国セミナー・UWA総会に参加および研究発表
共同研究（林依里子会員、柳堀朗子会員）
「女性のエンパワーメントの環境整備としての男女共同参画社会－現代学生気質から男女共同参画社会の未来を探る－」
発表者 林依里子会員
10月21日 親睦バス旅行
田崎真珠本社、白鶴美術館、香雪美術館
10月23、24日 16th国際協力ふれあいフェスティバル参加
12月12日 能・狂言鑑賞会
能「山姥」狂言「胸突」
1月16日 新年会（お話と午餐会）

岐阜支部

松井 恵美

会員数 12名
支部会費 2000円
事業報告（1999年度）
5月28日 支部だより発送
6月23日 JAUW会報と支部だより発送
7月3日 支部総会
8月5日 支部だより発送
10月10日 支部だより発送
11月6日 勉強会
講演「男女の機会均等からファミリーフレンドリー社会へ」
講師 野間敦子氏 労働省岐阜女性少年室長
11月11日 勉強会講演要旨と資料を欠席者に発送
1月20日 本部総会案内及び支部だより発送
2月15日 支部だより及び本部より送付の総理への要望書をコピーし発送
3月6日 親睦会
事業計画（2000年度）
5、6月 支部総会
10月 勉強会（できれば全国セミナーに出席）
3月 親睦会

金沢支部

山村 福子

会員数 42名
支部会費 2000円
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
5月29日 研究会「ネパール・ヒマラヤの保健事情」
講師 国分恵子氏 県立福井大学看護短大教授
6月9日 支部役員会 支部総会の打ち合わせ
6月19日 勲五等瑞宝章受賞の石野和子会員の祝賀会に参加
7月4日 支部総会
7月9日 支部役員会 支部総会で委託されたインドカシミールの女子大学生に奨学金を贈る件について検討 基金を設けることを決める。
9月1日 支部役員会 前記奨学金の名称を「KJS奨学金」とし、寄付金を募って基金を設けそれをカシミールの銀行に預け、その利息を奨学金にあてることを決める。
9月15日 敬老の日に80才以上の会員にお祝いの品を贈る。
10月6日 見学会 金沢市東部クリーンセンターおよびリサイクルプラザを見学 ゴミ処理、環境問題について学ぶ。
10月16、17日 全国セミナー・UWA総会参加
12月4日 研究会「最近のインドネシア情勢」
講師 鏡味治也氏 金沢大学助教授
当日、石川県手をつなぐ育成会と石川県肢体不自由児協会へ年末寄付金を贈る。
2月9日 支部役員会
2月20日 新年会 アルゼンチンからの留学生をゲストに招き、昼食をとりながら懇談
3月末日 タイ＝バンコクのドゥアン・プラティープ財団へ奨学金を贈る。
事業計画（2000年度）
6月 研究会
7月2日 支部総会
9月15日 敬老の日に80才以上の会員にお祝いの品を贈る。
9月 研究会
11月 研究会
12月 年末寄付を募り、例年どおり2団体へ贈る。
2月 新年会
3月末日 タイ＝バンコクのドゥアン・プラティープ財団へ奨学金を贈る。

京都支部

益田 圭子

会員数 96名
支部会費 1000円
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
4月23日 支部総会
講演「二つの島国－エリザベス朝の再考－」
講師 越智武臣先生 京都大学名誉教授・元橘女子大学長
5月11日 ソニア・セルヴォマさん（フィンランド＝ラーティ支部会員）の送別会
5月13日 支部長選出検討委員会発足
5月27日 役員会 コンサート開催の件
6月5日 例会 講演「イスラム社会と女性」
講師 岩武昭男先生 関西学院大学助教授
6月14日 検討委員会 アンケートの作成
7月1日 役員会 タイス・コルドバさん（コスタリカ会長）上洛時の接待・行事日程など打ち合わせ
7月8日 検討委員会 アンケートの原稿修正
7月14、15、16日 タイス・コルドバさん京都支部来訪 観光・会食・懇親
7月24日 例会
講演「介護保険制度」
講師 ホルム・麻植佳子先生
ミニバザー開催
8月20日 役員会 全国セミナーについて IFUW会員京都来訪時の接待について
9月13日 役員会 ミニコンサートのプログラム他詳細決定
9月23日 国内奨学生選考
12大学より14名応募
10月16、17日 全国セミナー・UWA総会参加
10月19、20日 UWA総会出席のズレイカ・ルクサーナさん（インド会員）
京都来訪 観光・会食
10月30日 役員会 ミニコンサートについて最終打ち合わせ
11月6日 例会 コンサート 新進演奏家6名出演
11月15日 検討委員会 アンケートの集計結果
12月4日 例会 全国セミナー・UWA総会の報告
お話「スペイン近世の美術」（スライドにて）
講師 野口栄子先生
1月13日 役員会 新年会及び3月例会、4月支部総会などの予定事項について
1月14、18日 国内奨学生に奨学金・賞状を贈呈
1月20日 知事・市長・女性政策課に要望書を届ける。
1月29日 新年会 お話と午餐会
お話「ワインのたのしみ」－もてなしの心－
講師 友澤弘氏 京都ホスピタリティー研究所代表
2月7日 役員会及び検討委員会
3月4日 例会 支部長選出に関して検討委員会長より最終結果報告
お話「女性が本を読む時」久代佐智子会員
お話「女性と研究」稲田明理会員
事業計画（2000年度）
4月22日 支部総会
講演
講師 杉山武敏先生
5月23日 見学会 京都国立博物館
以後は順次協議決定する。

福井支部

木村 温美

会員数 17名
支部会費 1000円
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
5月29日 研究会「ネパール・ヒマラヤの保健事情」
講師 国分恵子氏 県立福井大学看護短大教授
6月9日 支部役員会 支部総会の打ち合わせ
6月19日 勲五等瑞宝章受賞の石野和子会員の祝賀会に参加
7月4日 支部総会
7月9日 支部役員会 支部総会で委託されたインドカシミールの女子大学生に奨学金を贈る件について検討 基金を設けることを決める。
9月1日 支部役員会 前記奨学金の名称を「KJS奨学金」とし、寄付金を募って基金を設けそれをカシミールの銀行に預け、その利息を奨学金にあてることを決める。
9月15日 敬老の日に80才以上の会員にお祝いの品を贈る。
10月6日 見学会 金沢市東部クリーンセンターおよびリサイクルプラザを見学 ゴミ処理、環境問題について学ぶ。
10月16、17日 全国セミナー・UWA総会参加
12月4日 研究会「最近のインドネシア情勢」
講師 鏡味治也氏 金沢大学助教授
当日、石川県手をつなぐ育成会と石川県肢体不自由児協会へ年末寄付金を贈る。
2月9日 支部役員会
2月20日 新年会 アルゼンチンからの留学生をゲストに招き、昼食をとりながら懇談
3月末日 タイ＝バンコクのドゥアン・プラティープ財団へ奨学金を贈る。
事業計画（2000年度）
6月 研究会
7月2日 支部総会
9月15日 敬老の日に80才以上の会員にお祝いの品を贈る。
9月 研究会
11月 研究会
12月 年末寄付を募り、例年どおり2団体へ贈る。
2月 新年会
3月末日 タイ＝バンコクのドゥアン・プラティープ財団へ奨学金を贈る。

奈良支部

中川 早苗

会員数 69名
支部会費 1000円
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
4月15日 支部役員会（旧役員による）
5月1日 支部総会
講演「高齢期の健康管理」
講師 山本公弘氏 奈良女子大学教授・保健管理センター所長
6月29日 改正男女雇用機会均等法セミナー参加
奈良女性少年室・奈良県主催
7月17日 スポーツとレクリエーションの会
「体と心のリラクゼーションのために」
講師 門野晴子氏 ノンフィクション作家
9月17日 国内奨学生候補者推薦
9月21日 第2回実行委員会
10月26日 音楽鑑賞会参加
第12回奈良大学コンサート
「重松みか＆小松英典デュオ・リサイタル」
11月10日 支部役員会
11月27日 講演会（奈良佐保カルチャー共催）
「奈良の町衆文化」－江戸から来た奈良奉行が驚くほどの『奈良の町』文化を考える－
講師 赤井達郎氏 前奈良教育大学学長
12月7日 第3回実行委員会
2月4日 平成11年度JAUW国内奨学金受賞を祝う会と第4回実行委員会
受賞者 ホームズ奨学生 奈良女子大学大学院人間文化研究科（博士課程）
複合領域科学専攻
板谷聡子氏
2月～3月 総会に向けて実行委員会を多数回開催
◎この他に奈良県男女共同参画推進協議会事業計画・実施への参加
6月8日 第1回総会
7月23日 第1回実行委員会男女共同参画推進事業〝男女共同参画プラザ〟以後5回
平成12年2月26日 平成11年度男女共同参画プラザ実施

中国琵琶 涂 善祥氏、楊琴 沈 兵氏の演奏（懇親会 奈良ホテル4月1日）

大阪支部

下川勢津子

会員数 85名
支部会費 2000円
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
4月16日 支部役員会開催
4月23日 支部総会
5月30日 歴史散歩 寂光寺（江口の君堂）・大隅神社・定専坊・瑞光寺（雪鯨橋）など
6月28日 講演会「男女協働社会の実現に向けて」
講師 馬越かよ子氏 大阪府生活文化部男女協働社会づくり課課長
7月17日 講演会「バングラデシュの女性の地位と生活」
講師 サビーナ・イェスミン会員 大阪府立大学農学部応用分子生物学研究室
9月28日 日帰りバスツアー 根来寺・華岡清州の里（春林軒塾・展示室・清州の墓・ハーブガーデン）
10月16、17日 全国セミナー・UWA総会参加
11月15日 大阪支部だより第11号発行
11月17日 鑑賞会
能「巴」泉雅一郎氏
狂言「仏師」茂山千之丞氏
11月30日 講演会「映画の世界について」
講師 楠田浩之氏 映画カメラマン
講師 楠田芳子氏（故木下恵介監督令妹）
シナリオライター
12月7日 水墨画実習「干支の賀状作りその他」
講師 西浦布容氏
1月25日 新年会
1月30日 支部役員会開催
2月28日 講演会「いまどきの学生」
講師 西野博子会員
3月27日 講演会「DV防止のために私たちのできること」
講師 松島律子会員
役員会は例会に引き続き開催
英語ワークショップ 6回実施
事業計画（2000年度）
5月1日 支部総会
5月27日 歴史散歩
以後の事業計画は役員交代の後新役員により決定

神戸支部

加藤 啓子

会員数 170名
支部会費 2000円
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会出席
4月24日 支部総会
5月15日 講演「ドメスティック・バイオレンスの現状と課題」
講師 長谷川京子氏 弁護士
5月30日 IFUW第一副会長青木怜子氏を迎えてIFUWのお話を伺う。
6月19日 講演「茶の湯の歴史－千利休を中心に－」
講師 野村君代会員
7月17日 講演「脳の若さを維持する秘訣」
講師 児玉光雄氏 右脳開発研究所所長
9月19日 講演「子どもと家族を支える為に」
講師 側垣一也氏 児童擁護施設「三光塾」施設長
10月15～17日 全国セミナーとUWA総会に参加および研究発表
演題「子どもの虐待防止に向けて－子どもと家庭を支える為の地域における子育て支援の現状－」
発表者 八尾佳子会員
10月23日 講演「明治の女子留学生－山川捨松の生涯－」
講師 秋山ひさ氏
11月18日 親睦会 堀江オルゴール館見学と香風でのお食事
12月4日 「日本のお正月料理を作って国際交流」
外国人（5カ国6名）を招待して正月料理の講習会
講師 佃佳代子会員 古林和子会員
1月16日 講演「生涯学習－死ぬまで元気で若々しく－」
講師 小倉美津子氏 仏教大学教育学部生涯学習学科教授
11月18日 親睦会 堀江オルゴール館見学と香風でのお食事
12月4日 「日本のお正月料理を作って国際交流」
外国人（5カ国6名）を招待して正月料理の講習会
講師 佃佳代子会員 古林和子会員
1月16日 講演「生涯学習－死ぬまで元気で若々しく－」
講師 小倉美津子氏 仏教大学教育学部生涯学習学科教授
国内奨学生片山あおいさんを迎えてお話を伺う。
2月19日 講演「福祉施設の現状と高齢者向け施設の実情について」
講師 市川禮子氏 特別養護老人ホーム芦屋「喜楽苑」苑長
講演後有志により施設を見学
3月13日 親睦会 ランチとメキシカンミュージック
◎その他
＊毎月役員会を開催し、「支部だより」を発行
＊ビーナ・ロイ基金継続
＊同好会として、月一回の読書会とダンスの会を実施
＊JAUWボランティアグループ「芦の会」の活動
(1) 男女共同参画社会と高齢化社会に関するアンケート調査報告
(2) 講演「男女共同参画社会の高齢化介護を考える」
講師 門野晴子氏 ノンフィクション作家
11月10日 支部役員会
11月27日 講演会（奈良佐保カルチャー共催）
「奈良の町衆文化」－江戸から来た奈良奉行が驚くほどの『奈良の町』文化を考える－
講師 赤井達郎氏 前奈良教育大学学長
12月7日 第3回実行委員会
2月4日 平成11年度JAUW国内奨学金受賞を祝う会と第4回実行委員会
受賞者 ホームズ奨学生 奈良女子大学大学院人間文化研究科（博士課程）
複合領域科学専攻
板谷聡子氏
2月～3月 総会に向けて実行委員会を多数回開催
◎この他に奈良県男女共同参画推進協議会事業計画・実施への参加
6月8日 第1回総会
7月23日 第1回実行委員会男女共同参画推進事業〝男女共同参画プラザ〟以後5回
平成12年2月26日 平成11年度男女共同参画プラザ実施

岡山支部

寺元美保子

会員数 73名
支部会費 2000円
事業報告（1999年度）
4月4日 通常総会 岡山で開催
4月29日 AAUWカリフォルニア支部のギルダさんと、ホーム・ステイ・ファンデーションのジョンさんを囲んで「この10年にみる日本人学生のホーム・ステイにおける態度の変わりよう」についてお話を聞く。
5月15日 支部総会
6月13日 第1回例会
講演「女性の人権、ドイツとペルーの女性たち」
講師 ザビーネ・コッペ氏 山陽学園大学助教授
旧東ドイツ出身の講師から東西ドイツ統一前と後の国の変貌と、現在抱える問題点を聞き、女性たちのエンパワーメントを学ぶ。ペルーの文字を持たない民族における女性たちとの関わりを通して、彼女たちの持っている能力を開発する手助けをする活動を聞く。
7月24、25日 第2回例会
「犬島で星と自然を楽しむ」
宿泊研修の中で「男女共同参画社会」「老人介護」「リプロダクティブ・ヘルス」「国際協力」などの話し合いを持つ。
8月30日 第3回例会 第16回外国人による日本語弁論大会準備会
9月11日 第4回例会 第16回外国人による日本語弁論大会準備会
10月9日 バザー用品の値付け
10月15～17日 全国セミナー・UWA総会参加
10月21日 バザーの為のケーキ焼き
10月23、24日 山陽学園大学学園祭にてバザー出店
事業計画（2000年度）
4月15日 支部総会
5月 パスツアー
ビーナ・ロイ寄金と同好会など、従来のものは継続の予定
詳細は未定

11月14日　弁論大会プログラム作成発送作業
11月20日　弁論大会のティーパーティ用のケーキ焼き
11月28日　第16回「外国人による日本語弁論大会」
1月23日　第5回例会　UWA総会の報告　新年親睦会「外国人による日本語弁論大会」出場者、当日ボランティアで手伝ってくれた山陽大学の学生を招待
3月26日　第6回例会「ヴェトナム戦争を越えて、ヴェトナムの女性を語る」　講師　ヴァン・ホンダ・チェン氏　岡山大学留学生

事業計画（2000年度）
5月14日　支部総会
11月26日　第17回「外国人による日本語弁論大会」
＊支部例会　5回「弁論大会」のために準備会やJAUWの年間テーマを受けての研修会等

広島支部

舟橋　喜恵

会員数　35名
支部会費　2000円

事業報告（1999年度）
1. **JAUW関係**
4月4日　通常総会出席
4月10日　支部役員会
5月1日　支部総会
7月30日　第1回例会「しまなみ海道日帰りクルーズ」の旅
10月16、17日　全国セミナー・UWA総会参加
10月24日　第2回例会　きのこ狩りハイキング
1月24日　第3回例会　新年会
3月4日　第4回例会　県立3大会リレートーク講演会
2. **広島県女性会議・広島市女性団体連絡会議その他各種団体関係**
4月13日　広島市婦人教育会館婦人団体・グループ連絡会役員会
4月24日　広島市婦人教育会館婦人団体・グループ連絡会代表者会議
5月22日　広島県の女性の地位向上と社会参画をすすめる会平成11年度第1回全員会
5月22日　広島市婦人教育会館婦人団体・グループ連絡会代表者会議（総会）
6月28日　広島市女性団体連絡会議役員会
7月3、4日　「21世紀女性が輝くとき―示そう女性のエンパワーメント―」（広島市婦人教育会館婦人団体・グループ連絡会主催）　講演会・ワークショップ・パネルディスカッション「伝えようヒロシマの心」
8月4日　「ヒロシマ平和の灯」（広島市女性団体連絡会議主催）
8月28日　広島県青少年女性課との懇談会　広島県行政への要望提出
10月9日　第11回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア'99シンポジウム」
10月11日　男女共同参画社会づくりセミナー（広島市女性団体連絡会議主催）　落合恵子講演会とディベイト「結婚は女性より男性の方が有利である」
11月13日　国際交流集会（広島市婦人教育会館婦人団体・グループ連絡会主催）
11月27日　ふれあいフォーラム「子育てを楽しく」（広島県女性会議主催）
1月15日　広島市婦人団体・グループ連絡会代表者会議
1月29日　シンポジウム「いきいきと働きつづけるために」（広島県女性会議主催）
2月26日　広島市婦人団体・グループ交流会で「広島の平和教育」研究発表

事業計画（2000年度）
1. 支部総会を開催し2000年度事業計画を協議し決定
2. 支部例会の開催
1月29日　シンポジウム「いきいきと働きつづけるために」（広島県女性会議主催）
2月26日　広島市婦人団体・グループ交流会で「広島の平和教育」研究発表
10月5日　国際交流および懇親会　モンペリエ第三大学学長（ミシェル・ヴェイユ氏）および教授夫妻（ジャン・マリ・プチ氏夫妻）を囲む交流会
10月16、17日　全国セミナー・UWA総会参加　10月19日　講演会「南フランスのある家族の物語」　講師　ジャン・マリ・プチ氏　モンペリエ第三大学教授
同夕　モンペリエ第三大学教授夫妻をかこむ懇親会
11月3日　シャンソンコンサートを後援　松本扶美代会員のシャンソンコンサートを楽しむ会
12月14日　男女共生フェスタ　大分県女性青少年課主催に参加
自主企画分科会（支部長井上　ワークショップ指導）に参加
1月5日　2月例会準備および支部会冊子の原稿および広告募集への役員会
本部よりのセミナー決議事項審議
1月8日　本部よりのセミナー決議事項を県内各団体に送付
1月28日　全国男女共同参画都市サミット参加
2月26日　国際交流例会「アジアの常備菜」　留学生を招いて交流
3月　クラルテ編集会議（2～3回）

事業計画（2000年度）
1. 男女共同参画社会への積極的取り組み　県等の企画に積極的に参加すること　他女性団体との協力
2. 源氏物語講座の継続（毎月1～2回）
3. 異文化理解のために国際交流に積極的に取り組むこと　10月のUWA総会への参加　講演会、交流会等の開催
4. 会員相互の親睦を図り新しい会員の確保に努めること
5. 大分支部冊子（クラリテ）の継続刊行
6. 世界の女性自立支援のための商品の販売に協力等
同日、バングラデシュの女性自立を支援するために商品のバザーを開催
9月12日　役員会
10月5日　国際交流および懇親会　モンペリエ第三大学学長（ミシェル・ヴェイユ氏）および教授夫妻（ジャン・マリ・プチ氏夫妻）を囲む交流会
10月16、17日　全国セミナー・UWA総会参加　10月19日　講演会「南フランスのある家族の物語」　講師　ジャン・マリ・プチ氏　モンペリエ第三大学教授
同夕　モンペリエ第三大学教授夫妻をかこむ懇親会
11月3日　シャンソンコンサートを後援　松本扶美代会員のシャンソンコンサートを楽しむ会
12月14日　男女共生フェスタ　大分県女性青少年課主催に参加
自主企画分科会（支部長井上　ワークショップ指導）に参加
1月5日　2月例会準備および支部会冊子の原稿および広告募集への役員会
本部よりのセミナー決議事項審議
1月8日　本部よりのセミナー決議事項を県内各団体に送付
1月28日　全国男女共同参画都市サミット参加
2月26日　国際交流例会「アジアの常備菜」　留学生を招いて交流
3月　クラルテ編集会議（2～3回）

事業計画（2000年度）
1. 男女共同参画社会への積極的取り組み　全国セミナーへの取り組み
2. 源氏物語講座の継続
3. 異文化理解のために国際交流に積極的に取り組むこと
4. 会員相互の親睦をはかり新しい会員の確保に努めること
5. 大分支部冊子（クラリテ）の継続刊行
6. 世界の女性自立のための商品の販売等

熊本支部

阿蘇品都美子

会員数　28名
支部会費　2000円

事業報告（1999年度）
4月1日　熊本支部創立50年記念誌原稿依頼文発送
4月4日　通常総会出席
5月15日　支部総会
6月3、4日　大気汚染（NO_2濃度）測定協力
7月5日　日本国際連合協会熊本県本部総会（阿蘇品出席）
8月10日　第1回50年誌編集会議
9月18日　第2回50年誌編集会議
10月15～17日　全国セミナー・UWA総会参加
11月13日　第1回例会「中国に滞在して思うこと」　講師　宮本恭子氏
支部経過報告等
12月17日　50年誌印刷完了
2月12日　第2回例会　50年誌刊行記念の会・新年会

愛媛支部

太田万寿子

会員数　13名
支部会費　2000円

1. 支部総会を開催し2000年度事業計画を協議し決定
2. 支部例会の開催
1月29日　シンポジウム「いきいきと働きつづけるために」（広島県女性会議主催）
2月26日　広島市婦人団体・グループ交流会で「広島の平和教育」研究発表

事業計画（2000年度）
10月5日　国際交流および懇親会　モンペリエ第三大学学長（ミシェル・ヴェイユ氏）および教授夫妻（ジャン・マリ・プチ氏夫妻）を囲む交流会
同日、バングラデシュの女性自立を支援するために商品のバザーを開催
10月16、17日　全国セミナー・UWA総会参加　10月19日　講演会「南フランスのある家族の物語」　講師　ジャン・マリ・プチ氏　モンペリエ第三大学教授
同夕　モンペリエ第三大学教授夫妻をかこむ懇親会
11月3日　シャンソンコンサートを後援　松本扶美代会員のシャンソンコンサートを楽しむ会
12月14日　男女共生フェスタ　大分県女性青少年課主催に参加
自主企画分科会（支部長井上　ワークショップ指導）に参加
1月5日　2月例会準備および支部会冊子の原稿および広告募集への役員会
本部よりのセミナー決議事項審議
1月8日　本部よりのセミナー決議事項を県内各団体に送付
1月28日　全国男女共同参画都市サミット参加
2月26日　国際交流例会「アジアの常備菜」　留学生を招いて交流
3月　クラルテ編集会議（2～3回）

山口支部

松岡　静子

会員数　13名
支部会費　2000円

1. 支部総会を開催し2000年度事業計画を協議し決定
2. 支部例会の開催
1月29日　シンポジウム「いきいきと働きつづけるために」（広島県女性会議主催）
2月26日　広島市婦人団体・グループ交流会で「広島の平和教育」研究発表

事業計画（2000年度）
10月5日　国際交流および懇親会　モンペリエ第三大学学長（ミシェル・ヴェイユ氏）および教授夫妻（ジャン・マリ・プチ氏夫妻）を囲む交流会
同日、バングラデシュの女性自立を支援するために商品のバザーを開催
10月16、17日　全国セミナー・UWA総会参加　10月19日　講演会「南フランスのある家族の物語」　講師　ジャン・マリ・プチ氏　モンペリエ第三大学教授
同夕　モンペリエ第三大学教授夫妻をかこむ懇親会
11月3日　シャンソンコンサートを後援　松本扶美代会員のシャンソンコンサートを楽しむ会
12月14日　男女共生フェスタ　大分県女性青少年課主催に参加
自主企画分科会（支部長井上　ワークショップ指導）に参加
1月5日　2月例会準備および支部会冊子の原稿および広告募集への役員会
本部よりのセミナー決議事項審議
1月8日　本部よりのセミナー決議事項を県内各団体に送付
1月28日　全国男女共同参画都市サミット参加
2月26日　国際交流例会「アジアの常備菜」　留学生を招いて交流
3月　クラルテ編集会議（2～3回）

高知支部

池川　順子

会員数　1名
支部会費　3000円

事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
4月12日　役員会
4月26日　支部会計監査
5月8日　支部総会　講演「福祉の現場から」　講師　浦田照会員　施設白寿苑長
支部報告、会計報告後次の項目を決議
1. 男女共同参画社会への積極的取り組み　県等の企画に積極的に参加すること　他女性団体との協力
2. 源氏物語講座の継続（毎月1～2回）
3. 異文化理解のために国際交流に積極的に取り組むこと　10月のUWA総会への参加　講演会、交流会等の開催
4. 会員相互の親睦を図り新しい会員の確保に努めること
5. 大分支部冊子（クラリテ）の継続刊行
6. 世界の女性自立支援のための商品の販売に協力等
同日、バングラデシュの女性自立を支援するために商品のバザーを開催
9月12日　役員会
10月5日　国際交流および懇親会　モンペリエ第三大学学長（ミシェル・ヴェイユ氏）および教授夫妻（ジャン・マリ・プチ氏夫妻）を囲む交流会
10月16、17日　全国セミナー・UWA総会参加　10月19日　講演会「南フランスのある家族の物語」　講師　ジャン・マリ・プチ氏　モンペリエ第三大学教授
同夕　モンペリエ第三大学教授夫妻をかこむ懇親会
11月3日　シャンソンコンサートを後援　松本扶美代会員のシャンソンコンサートを楽しむ会
12月14日　男女共生フェスタ　大分県女性青少年課主催に参加
自主企画分科会（支部長井上　ワークショップ指導）に参加
1月5日　2月例会準備および支部会冊子の原稿および広告募集への役員会
本部よりのセミナー決議事項審議
1月8日　本部よりのセミナー決議事項を県内各団体に送付
1月28日　全国男女共同参画都市サミット参加
2月26日　国際交流例会「アジアの常備菜」　留学生を招いて交流
3月　クラルテ編集会議（2～3回）

大分支部

井上　富江

会員数　22名
支部会費　3000円

事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
4月12日　役員会
4月26日　支部会計監査
5月8日　支部総会　講演「福祉の現場から」　講師　浦田照会員　施設白寿苑長
支部報告、会計報告後次の項目を決議
1. 男女共同参画社会への積極的取り組み　県等の企画に積極的に参加すること　他女性団体との協力
2. 源氏物語講座の継続（毎月1～2回）
3. 異文化理解のために国際交流に積極的に取り組むこと　10月のUWA総会への参加　講演会、交流会等の開催
4. 会員相互の親睦を図り新しい会員の確保に努めること
5. 大分支部冊子（クラリテ）の継続刊行
6. 世界の女性自立支援のための商品の販売に協力等
同日、バングラデシュの女性自立を支援するために商品のバザーを開催
9月12日　役員会
10月5日　国際交流および懇親会　モンペリエ第三大学学長（ミシェル・ヴェイユ氏）および教授夫妻（ジャン・マリ・プチ氏夫妻）を囲む交流会
10月16、17日　全国セミナー・UWA総会参加　10月19日　講演会「南フランスのある家族の物語」　講師　ジャン・マリ・プチ氏　モンペリエ第三大学教授
同夕　モンペリエ第三大学教授夫妻をかこむ懇親会
11月3日　シャンソンコンサートを後援　松本扶美代会員のシャンソンコンサートを楽しむ会
12月14日　男女共生フェスタ　大分県女性青少年課主催に参加
自主企画分科会（支部長井上　ワークショップ指導）に参加
1月5日　2月例会準備および支部会冊子の原稿および広告募集への役員会
本部よりのセミナー決議事項審議
1月8日　本部よりのセミナー決議事項を県内各団体に送付
1月28日　全国男女共同参画都市サミット参加
2月26日　国際交流例会「アジアの常備菜」　留学生を招いて交流
3月　クラルテ編集会議（2～3回）

事業計画（2000年度）
1. 支部総会及び例会（3回程度）の実施
2. 国際交流、先輩の講話等の再開
3. 大気汚染測定協力等
12月9日　福岡市更生保護婦人会創立40周年記念式典代表出席
1月22日　例会　新年会
2月11日　例会　反省会及び来年度の活動目標決定
3月11日　例会　国際交流会卓話　講師　張弘氏

事業計画（2000年度）
＊支部総会において協議決定の予定

福岡支部

井上　洋子

会員数　44名
支部会費　3000円

事業報告（1999年度）
4月4日　通常総会出席
5月22日　支部総会
6月13日　支部創立50周年祝賀会
7月31日　例会　講演会「ネパールでの小学校建設支援活動について」　講師　前田桂子氏
8月4日　福岡女性まつり99イベント交流会
8月27日　福岡市暴力追放推進協議会総会代表出席
9月4日　民間女性団体交流フォーラム代表出席
9月5日　女性副知事サミット
10月23日　婦人会館「女性まつり」「男の料理教室」参加
11月12日　講演会「男と女の更年期」　講師　坂本雅子氏
11月21日　例会　バスツアー　長崎街道木屋瀬と笹田焼

事業計画（2000年度）
＊支部総会において協議決定の予定

長崎支部

河村紀美子

会員数　7名
支部会費　未定

事業報告（1999年度）
4月　通常総会出席
6月　福岡支部50周年記念祝賀会出席
7月　長崎県主催〝コーポラティブハウス研修会〟協賛参加
11月　長崎市女性人材育成事業セミナー参加
1月　支部総会開催

事業計画（2000年度）
＊本部主催セミナーへ参加予定
＊日女大以外の会員拡大活動

鹿児島支部

大久保美智子

会員数　1名

委員会の名称変更について

通常総会記録に記されているように、本年度より5委員会の名称が実情に合わせて変更になった。1. 国外婦人委員会→国際婦人委員会　2. 国際第一委員会→国際委員会　3. 国際第二委員会→国内NGO委員会　4. 女性の地位委員会→広報委員会　5. 報道委員会→広報委員会

〈国内NGO委員会報告〉
当委員会は主として国内での他の団体「国連NGO国内婦人委員会」「国際人権規約完全実施促進連絡会議」「国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会」等との連絡を担当し、1964年発足当時の国際第二委員会という名称と活動がそぐわない。委員会で2年にわたり検討した結果、国内のNGOとの関わりが強いことから「国内NGO委員会」と名称の変更を提案、承認される。

第5回 サロンJのお知らせ

日時　9月12日(火)　午後1時30分より
場所　JAUW事務所
お話　「豊かな経験を得て…」中村ミチコ会員

新入会員　(42名)　2000年4～6月　理事会承認

札幌支部
岡田圭子（北海道）062-0933　札幌市豊平区平岸三条17－5－20
秋田支部
秋山真理子（青学）　010-0001　秋田市中通5－1－37 クリスタルマンション302
仙台支部
小関和子（宮学女）982-0833　仙台市太白区八木山弥生町11－1
渋谷由美子（桐音）　982-0831　仙台市太白区八木山香澄町15－23
新潟支部
鈴木裕美（名古屋）951-8108　新潟市中大畑町520
群馬支部
石出理恵（神奈川）371-0846　前橋市元総社町209－5メゾンドールたかつ202
吉川真由美（茶）　371-0026　前橋市大手町2－2－1
長野支部
水野隆子（中）　381-0017　長野市小島221－22
東京支部
伊藤恵（名古屋）228-0015　座間市南栗原4－10－14－202
上野郁子（奈女）　175-0082　板橋区高島平5－10－4
大野涼（東理）　230-0041　横浜市鶴見区潮田町1－16
奥村友子（聖）　158-0081　世田谷区深沢8－15－5
菊池壽美子（茶）　165-0026　中野区新井1－2－21
黒川花子（大女）　167-0041　杉並区善福寺1－21－29
後藤晶子（神女）　158-0083　世田谷区奥沢1－27－16
佐々木澄子（東女）　223-0064　横浜市港北区下田町6－20－12
清水知子（関学）　157-0061　世田谷区北烏山4－24－7
鈴木温子（聖）　112-0003　文京区春日2－8－12－302
鈴木久子（聖）　145-0063　大田区南千束3－18－12
堤恭子（実）　222-0024　横浜市港北区篠原台町20－25
豊田トモ子（聖）　115-0055　北区赤羽西3－11－11
中澤嗣子（金城）　132-0021　江戸川区中央4－1－10
中島寿々子（聖）　251-0037　藤沢市鵠沼海岸7－7－22
中平玲子（昭女）　262-0005　千葉市花見川区こてはし台4－23－24
日置惠子（学）　195-0061　町田市鶴川2－11－7－203
三浦久子（大女）　245-0063　横浜市戸塚区原宿町3－26－11
宮澤照代（昭女）　274-0824　船橋市前原東2－5－11
山本佳代子（島根）　693-0011　出雲市大津町424－6
吉原雅子（日女）　155-0033　世田谷区代田2－6－19
神奈川支部
穐田信子（京都）　222-0013　横浜市港北区錦が丘30－9
池田美知恵（東洋英和女）360-0014　熊谷市箱田833－3
斎藤礼子（東工・院）　251-0025　藤沢市鵠沼石上1－9－14－502
鈴木紀子（横市・横国院）221-0802　横浜市神奈川区六角橋6－29－5－206
松鹿光（聖）　213-0015　川崎市高津区梶ケ谷2－13－4－309
矢作明美（東洋英和女）241-0801　横浜市旭区若葉台4－24－204
愛知支部
片岡由美子（愛教・院）　442-0863　豊川市平尾町中貝津76－2
京都支部
今井伸江（慶）　603-8377　京都市北区衣笠西御所ノ内町3－1
佐々木千恵子（京府）　603-8407　京都市北区大宮北林町54－2
神戸支部
藤井道子（奈女）　658-0014　神戸市東灘区北青木1－2－704
広島支部
大島とうこ（広女・ニューヨーク）733-0812　広島市西区己斐本町1－16－8－902
福岡支部
伊藤發子（茶）　814-0000　福岡市早良区千隈5－5－18
須永洋（熊本）　818-0055　筑紫野市塔原296－30

2000年度 委員会名簿

【財務委員会】
委員長　藤谷文子
相田志都江　芥川妙子
阿南糸代　井口美登利
市川知恵子　江口昌子
大森たへ子　奥津成子
加藤文子　金子京子
川田ひろ　北村和子
熊切富子　駒木三枝子
小宮礼子　斉藤智恵
坂井英子　佐々木洋子
柴崎富子　鈴木美代子
鈴木行子　住友千代子
関口瑞穂　高林益江
太刀川洋子　中山正子
中山律子　羽山昭子
待場田鶴子　松村美枝子
山崎邦子　山村敬子

【国内奨学委員会】
委員長　金子堯子
上野郁子　上山民栄
小西厚子　坂上栄美子
清水敬子　辻英子
平石妙子　牧久恵
村岡全子

【国際奨学委員会】
委員長　宮島茂子
阿部幸子　有澤公
井上章子　菊池薫
楠明子　五味澄子
千葉恵子　永野善子
西尾順子　根岸愛子
萩原芳子　廣田貞子
八木江里　山中照子

【科学研究奨励委員会】
委員長　島美喜子
井上久仁子　岩村道子
大野涼　加藤恭子
熊谷晶子　時枝裕子
丸山庸子　村岡全子
室伏きみ子　八木江里
山中照子

【国際委員会】
委員長　平野俊枝
伊藤澄子　小野恭子
斉藤智恵　五味澄子
千葉恵子　中村ミチコ
萩原芳子　平川敦子
平田宏子　福田文子
房野桂　藤田道子
増渕民子　待場田鶴子
溝渕ひろ子　宮下好子

【国内NGO委員会】
委員長　五十嵐康子
江尻美穂子　海老原典子
鍵山祐子　片岡貴美子
菊池壽美子　斉藤加代子
白井典子　高田素子
田中トモ子　旦節子
手島有哉子　仲町和子
中村ミチコ　野崎方子
林依里子　房野桂
松鹿光　松比良節子
丸山庸子　峯川正子
望月浪江　横橋貴子

【教育委員会】
委員長　藤村久美子
有本玲子　伊藤めぐみ
大森たへ子　川村美紀
田中正子　橋本慶子
平田宏子　福田文子
武藤亜希子　山澤和子

【女性の地位委員会】
委員長　鈴木伸子
飯田寛子　海老原典子
静間敏子　白井典子
杉森長子　高田素子
土屋和子　増渕民子
松浦基子　松比良節子
松本千誉　村田鈴子
森山智可　山谷真名

【社会福祉委員会】
委員長　玉井美枝子
阿部裕子　井口美登利
石渡和実　伊藤智恵子
奥原美恵子　駒木三枝子
鈴木光子　高岡真佐子
縄田真紀子　三浦由紀子
宮沢照代　吉原雅子

【広報委員会】
委員長　鷲崎順子
奥田順子　尾上夏子
木村和子　鈴木光子
相馬房子　成田廸子
藤田典子　松本佳子
山内弘子　横橋貴子

【会員委員会】
委員長　秋月明子
磯村晴子　菊地薫
後藤晶子　斎藤由美子
庄司ヨシ　西田節子
橋本津栄子　福田満代
堀口裕子　三浦久子
溝渕ひろ子　三森紀子
村松育子　山下靖子
吉村光代　千春

第2回 大学婦人協会 守田科学研究奨励賞 贈呈式

科学研究奨励委員長　島　美喜子

第2回守田科学研究奨励賞の贈呈式が5月20日、JALシティ四谷で行われた。

受賞者はオクラホマ州立大学化学科助教授の庭山聡美博士（有機化学）と東京医科歯科大学難治疾患研究所助教授の浜崎浩子博士（神経科学）である。式の後、庭山博士は有機化学の生物学、医学への応用について、浜崎博士は初期の発生生物学の研究から最近の中枢神経系の機能的構築に関する研究に至るまでの過程をふり返りながら、それぞれその研究の一端を話された。

庭山博士は東京大学大学院薬学研究科の博士過程をおえた後、直ちに渡米、オハイオ州立大学、カリフォルニア大学およびMITで研究員として研究、教育に従事し、98年に現在の地位に就任された。浜崎博士は上智大学大学院およびパリ第十三大学に学び、発生生物学の研究で博士の学位を受けた。その後、早稲田大学人間科学部助手および国立精神神経センター神経研究所等の研究員として研究、教育に携わり、98年に現在の地位に迎えられた。

お二人に共通していることは、経歴が多様で、研究も極めて多彩であることである。国際的に培われた幅広い知識と経験を持つお二人の研究の益々の発展を期待したい。

当日の会には高分子学会会長の中浜精一東京工業大学教授をはじめ、柿澤寛筑波大学名誉教授、青木清上智大学教授、木村一郎早稲田大学教授、平川暁子放送大学教授等、多くの先生方がご出席下さり、会員諸姉と合わせて60名を超える盛会となった。

庭山委員長を中心に喜びの浜崎浩子博士（左）、

第1回の奨励賞受賞者、原田慶恵博士が当日出席され、この4月に東京都臨床医学総合研究所生理活性物質研究部門室長に栄転されたのは、嬉しいニュースであった。

IFUW80周年 祝賀行事に参加して

国際委員長　平　野　和　子

3月25・26日、IFUW創立80周年の祝賀行事がジュネーヴで開かれた。「ジェンダーとグローバリゼーション」のテーマによるパネル・ディスカッションで幕を開け、グローバリゼーションが女性に与える影響は功罪相半ば、人間の安全保障という観点から、少しでもプラスの効果が得られるように、女性のエンパワーメントをはかり、情報技術に習熟していく必要性が強調された。

夜の祝賀晩餐会、過去と現在を礎に将来の戦略を立てるという点で、強く印象に残ったのはポスキット前会長のスピーチだった。第一次大戦の惨禍を繰り返すまいと、大西洋をはさむ英米両国の大卒女性の熱い思いをもとに設立され発展してきたIFUW、その歴史を改めて認識した。この席上、JAUWからの700スイスフランが祝賀チャレンジの一環として山本会長から手渡された。

2日目の分科会はまず「雇用と経済」についてのグループと「平和教育」についてのグループに分かれた。英語だけでの討論では参加しにくいとの配慮から、日本語やフランス語で討論するグループの設置が認められ、JAUWの参加者9名は二つのグループに分かれ、日本語での討論を進め、グループの集約意見を英語で発表する形がとられた。午後は全員が一堂に会し、同じような形で、IFUWと各NFA（各国連盟・協会）が今後取り組むべき優先課題として、教育、人間の安全保障、リーダーシップとパワー、雇用と経済の問題について討論と集約意見の発表が行われた。われわれの発表は、いずれも簡潔かつ具体的な内容だったと好評を博した。

今年は国連の定める国際平和の文化年にあたり、国際平和の実現を基本理念に掲げてきたIFUWが、もう一つの柱、教育と組み合わせて、新たな課題に取り組もうとする意気込みを強く感じた2日間であった。

第3回大学婦人協会守田科学研究奨励賞

受賞候補者募集要項

趣旨：本賞は化学教育者、故守田純子氏から女性科学研究者育成のためにと遺贈された資金を基にして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として設けられたものです。

対象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満（応募締切日現在）の女性科学者を対象としています。

受賞件数：年2件以内
賞状および副賞30万円を贈呈します。

提出書類：1．推薦状、2．履歴書(写真添付)、3．研究業績リスト、主要な論文別刷、4．研究題目とその概要および今後の展望・抱負等（A4版1～2頁程度内に記したもの）

応募締切日：2000年11月30日(木)（必着）

書類送付および連絡先：社団法人　大学婦人協会
〒160-0017　東京都新宿区左門町11番6の101
TEL：03-3358-2882　FAX：03-3358-2889

2000年度 大学婦人協会国内奨学生募集要項

I 応募資格

一般奨学生　文部省の認可する大学（短期大学を除く）の学部第3学年に在籍する女子学生、あるいは大学院に1年以上在籍する女子学生で、人物・学業ともに優れた者。

社会福祉奨学生　文部省の認可する大学（短期大学を除く）の学部・大学院に在籍する女子学生で、身体に障害があり、かつ人物・学業ともに優れた者。

安井医学奨学生　医学あるいは薬学などを専攻する修士課程2年以上の女子大学院生で、人物・学業ともに優れた者。なお本協会の会員であるか、または授与の時までに会員となること。

II 奨学金支給額（年額）及び募集人員

一般奨学生	学部生	1人	8万円	5名
	大学院生	1人	10万円	9名
社会福祉奨学生	学部生	1人	8万円	学部生、大学院生あわせて5名以下とする
	大学院生	1人	10万円	
安井医学奨学生	大学院生	1人	30万円	1名

備考　(1) 応募状況により奨学生の人数に多少変更もありうる。
(2) 奨学金のうち10万円は本協会東京支部からの寄付による。

III 提出書類

(1) 履歴書（市販のもの、写真貼付、自筆のこと）
(2) 大学婦人協会所定の奨学金交付調書（記入者は在学する大学の学長・学部長・学科長・指導教員のいずれかであること）
(3) 在学する大学の交付する学業成績証明書
(4) 小論文(下記のそれぞれの課題を1200字〔ワープロ使用 A4判 横書 40字×30行またはB5判400字詰横書原稿用紙3枚〕以内にまとめること)
一般奨学生および社会福祉奨学生
学部生　自分の専攻分野と将来の希望について
大学院生　修士論文または博士論文の計画と将来の希望について
安井医学奨学生
大学院生　自分の専攻分野と将来の展望について
(5) 所定の身体障害状況調書（社会福祉奨学生のみ）

IV 応募手続

応募希望者は、必要書類を所属大学の学長に提出すること。

V 出願締切日

2000年9月18日(月)までに、東京都・千葉県・埼玉県及び沖縄県の大学は本協会本部に、その他の地域の大学は当該支部に書類を提出すること。(当日消印有効)

VI 選考方法

支部長宛に提出された書類は支部会で選考して、2名以上の場合は順位をつけて本部に提出する。
本部においては、提出された全ての書類を選考委員会で選考し、その結果を理事会にはかって決定する。
選考の結果は、推薦支部長、本人の在学する大学学長、および本人に通知する。

VII その他

(1) 贈呈式は2001年1月初旬の予定（詳細は後日通知する）
(2) 不明の点については本部に照会のこと。

社団法人　大学婦人協会
会長　山本和代
国内奨学委員長　金子堯子
社会福祉委員長　玉井美枝子
〒160-0017　東京都新宿区左門町11番6の101
TEL 03-3358-2882　FAX 03-3358-2889

IFUW2000／2001 奨学生にJAUW会員選ばれる

この度、IFUWのウィニフレッド・カリス・グラントに加藤恵津子会員（東京支部）が選ばれ、3000スイスフランの奨学金を授与されました。
研究テーマ：「第二次世界大戦後の日本社会における茶道の意味－女性と伝統文化の関係を分析して－」（トロント大学博士課程）
国際奨学委員会報告より

平成11年度国庫補助事業

特別会計収支決算報告

特別会計：井口美登利　江口昌子　中山正子　（単位：円）

収入の部				支出の部				
区分	予算額	決算額	備考	区分	科目	予算額	決算額	備考
国庫補助金	2,200,000	2,200,000		補助対象経費	謝金	240,000	260,000	本部講師1名 支部・委員会講師6名
協会支出金	2,535,500	2,320,000			旅費	605,000	592,538	講師、企画・実行委員、支部長、レポーター
セミナー参加費	800,000	750,250	4,000×160 3,000×6 2,000×6 2,675×30		借損料	190,000	190,330	企画・実行委員会会場費、支部・委員会会場費
					消耗品費	175,000	169,531	事務用品、書籍、ワープロ用紙、リボン、テープ
懇親会費	750,000	660,000	5,000×132		印刷製本費	1,720,000	1,550,275	セミナー要項、プログラム、報告書、報告書発送用封筒
銀行利息	500	422			通信運搬費	1,060,000	935,790	支部・委員会連絡、セミナー報告書発送
					会議費	308,000	312,992	本部・支部・委員会会議費
＊特別会計収支報告について セミナー参加費、銀行利息等は直接特別会計で扱ったもので、本部会計には含まれません。 支出のうち、5支部の調査研究費は530,691円、3委員会の調査研究費は196,723円でした。 ご協力くださった支部、委員会にあらためて感謝いたします。					賃金	960,000	975,870	同時通訳、パソコン入力
					雑役務費	270,000	277,834	コピー代、現像代、プリント代
					小計	5,528,000	5,265,160	
				その他	懇親会費	750,000	660,000	5,000×132
					雑役務費	8,000	5,512	振込手数料
					小計	758,000	665,512	
計	6,286,000	5,930,672			計	6,286,000	5,930,672	

○監査報告　監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録され、間違いのないことを証明致します。

平成12年3月27日

監事　原澤可子　藤崎久

ビフィズス菌を育てて増やす甘味料

●毎日小サジ2～3杯でおなかのビフィズス菌をぐんぐん増やします。
●カロリーは砂糖の約半分。
●天然のサトウキビと牛乳からうまれたおいしさ。
●使い方はカンタン！コーヒー・紅茶からお料理やお菓子づくりにも。

「オリゴのおかげ」お客様相談室 フリーダイヤル 0120-86-1105

お試しサンプルをプレゼントします。

ご希望の方の中から抽選で30名様に差し上げます。

●応募方法
ハガキに〒、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記して、〒103-8581 東京都中央区日本橋人形町2-26-8『オリゴのおかげ』お試しJAUW係へ
●当選発表
発送をもって代えさせていただきます。
●締切　平成12年7月末日消印有効

発売元 (株)パールエース
製造元 塩水港精糖(株)

1999年度　社団法人 大学婦人協会収支決算報告書及び貸借対照表

収支計算書

(1999年4月1日から2000年3月31日まで)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅰ 収入の部				
1 基本財産運用収入	965,000	634,777	−330,223	
基金口座利息				
事業基金利息	400,000	269,936	−130,064	
ホームズ基金利息	15,000	9,808	−5,192	
国際奨学金基金利息	550,000	355,033	−194,967	
2 入会金収入	100,000	94,000	−6,000	
入会金	100,000	94,000	−6,000	94口(¥1,000×94)
3 会費収入	11,160,000	9,720,000	−1,440,000	
正会員会費収入	11,100,000	9,672,000	−1,428,000	1612口(¥6,000×1612)
賛助会員会費収入	60,000	48,000	−12,000	8口 (¥6,000×8)
4 補助金収入	2,500,000	2,200,000	−300,000	
国庫補助金収入	2,500,000	2,200,000	−300,000	
5 寄付金収入	2,600,000	12,694,758	+10,094,758	財務委員会 2,594,758円 東京支部より指定寄付 100,000円 その他 1000万円 (守田純子氏遺贈)
会員その他寄付	2,600,000	12,694,758	+10,094,758	
6 雑収入	1,328,000	1,583,780	+255,780	
受取利息				
運用財産利息	20,000	14,661	−5,339	
審査手数料	10,000	0	−10,000	
広告料収入	200,000	350,000	+150,000	
総会参加費	600,000	657,000	+57,000	¥3,000×219名
雑収入				
分担金	393,000	395,400	+2,400	東京支部より管理費分担
名簿	5,000	3,000	−2,000	
私用電話他	100,000	163,719	+63,719	
7 特定預金取崩収入	1,850,000	1,457,270	−392,730	
守田科学研究奨励金	850,000	763,710	−86,290	
若手会員育成金	1,000,000	693,560	−306,440	
A 当期収入合計	20,503,000	28,384,585	+7,881,585	
B 前期繰越収支差額	17,800,000	19,200,963	+1,400,963	
C 収入合計(A+B)	38,303,000	47,585,548	+9,282,548	

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費	15,155,000	13,265,342	−1,889,658	
国庫補助事業	5,500,000	4,520,000	−980,000	
奨学金				
国内奨学金	1,300,000	1,300,000	0	10万円×9名・8万円×5名
社会福祉奨学金	400,000	400,000	0	8万円×5名
ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	10万円×1名
安井医学奨学金	300,000	300,000	0	30万円×1名
国際奨学金	550,000	613,750	+63,750	60万円×1名 ハチャトリアン氏
守田科学研究奨励金	850,000	763,710	−86,290	30万円×2名 (アルメニア)
若手会員育成金	1,000,000	693,560	−306,440	研究費(静岡支部・愛知支部) UWA旅費他
分担金				
IFUW・UWA会費	1,900,000	1,490,662	−409,338	12SF×1800名・UWA会費
IFUW関係連絡費	200,000	144,482	−55,518	IFUW80周年祝金・会議出席旅費他
NGOその他	85,000	65,000	−20,000	
助成金				
IFUW寄付金	200,000	200,000	0	ピーナ・ロイPID基金へ
支部振興費	70,000	61,600	−8,400	
各委員会活動費	800,000	718,228	−81,772	
図書・資料	50,000	48,672	−1,328	
印刷製本費 名簿発行	0	0	0	
会報発行	1,400,000	1,478,400	+78,400	会報発行194号~197号
通信運搬費	450,000	367,278	−82,722	
2 管理費	6,173,000	6,220,205	+47,205	
給料・手当他			−	
給料・夏・冬手当	1,900,000	1,911,952	+11,952	
法定福利費	50,000	34,493	−15,507	
会議費				
総会費	1,800,000	1,951,778	+151,778	
理事会費	30,000	23,795	−6,205	
役員選考委員会費	5,000	6,006	+1,006	
旅費交通費	80,000	81,840	+1,840	
通信運搬費	300,000	270,200	−29,800	
什器備品費	30,000	379,663	+349,663	パソコン購入
消耗品費	600,000	528,788	−71,212	
印刷製本費	400,000	136,500	−263,500	
負担金	348,000	327,300	−20,700	
光熱水料金	200,000	155,560	−44,440	
諸謝金	120,000	120,000	0	
租税公課	200,000	140,900	−59,100	固定資産税
事務所営繕引当金	10,000	0	−10,000	
雑費	100,000	151,430	+51,430	
3 特定預金繰入金支出	0	18,300,000	+18,300,000	
安井医学奨学金	0	8,300,000	+8,300,000	
守田科学研究奨励金	0	10,000,000	+10,000,000	
4 繰入金支出	200,000	200,000	0	
事業基金繰入	200,000	200,000	0	
5 予備費	200,000	0	−200,000	
予備費	200,000	0	−200,000	
D 当期支出合計	21,728,000	37,985,547	+16,257,547	
E 当期収支差額(A−D)	−1,225,000	−9,600,962	−8,375,962	
F 次期繰越収支差額(C−D)	16,575,000	9,600,001	−6,974,999	

貸借対照表

2000年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動財産			
現金	298,737		
現金(国際奨学)	49,480		
普通預金	2,642,439		
定期預金	5,350,000		
郵便振替	120,000		
金銭信託(国際奨学)	916,266		
普通預金(国際奨学)	223,079		
流動資産合計		9,600,001	
2 固定資産			
基本財産			
事業基金	44,600,000		
ホームズ基金	2,000,000		
国際奨学基金	60,000,000		
基本財産合計	106,600,000		
その他の固定資産			
特定預金			
守田科学研究奨励金	24,415,698		
安井医学奨学金	8,300,017		
若手会員育成金	8,051,851		
土地・建物	52,000,000		
什器・備品	500,000		
電話加入権	100,000		
その他の固定資産合計	93,367,566		
固定資産合計		199,967,566	
資産合計			209,567,567
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
正味財産			209,567,567
(うち基本財産)			(106,600,000)
負債及び正味財産合計			209,567,567

○上記の収支決算報告書及び貸借対照表について異議のある方は7月末日までに会長までお申し出ください。

○監査報告　監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録されており、間違いのないことを証明致します。

平成12年4月13日

監事　原澤 可子

監事　藤崎　久

2000年度　社団法人 大学婦人協会予算書

(2000年4月1日から2001年3月31日まで)

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅰ 収入の部				
1 基本財産運用収入	813,000	965,000	−152,000	
基金口座利息				
事業基金利息	350,000	400,000	−50,000	
ホームズ基金利息	13,000	15,000	−2,000	
国際奨学金基金利息	450,000	550,000	−100,000	
2 入会金収入	100,000	100,000	0	
入会金	100,000	100,000	0	¥1,000×100名
3 会費収入	10,560,000	11,160,000	−600,000	
正会員会費収入	10,500,000	11,100,000	−600,000	¥6,000×1,750口
賛助会員会費収入	60,000	60,000	0	¥6,000×10名
4 補助金収入	2,000,000	2,500,000	−500,000	
国庫補助金収入	2,000,000	2,500,000	−500,000	
5 寄付金収入	2,305,500	2,600,000	−294,500	
会員その他寄付	2,305,500	2,600,000	−294,500	含 東京支部指定寄付10万
6 雑収入	1,491,500	1,328,000	+163,500	
受取利息				
運用財産利息	20,000	20,000	0	
審査手数料	10,000	10,000	0	
広告料収入	200,000	200,000	0	
総会参加費	660,000	600,000	+60,000	¥3,000×220名
雑収入				
分担金	398,500	393,000	+5,500	
名簿	3,000	5,000	−2,000	
私用電話他	200,000	100,000	+100,000	
7 特定預金取崩収入	2,170,000	1,850,000	+320,000	
安井医学奨学金	320,000	0	+320,000	
守田科学研究奨励金	850,000	850,000	0	
若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0	
A 当期収入合計	19,440,000	20,503,000	−1,063,000	
B 前期繰越収支差額	8,800,000	17,800,000		
C 収入合計(A+B)	28,240,000	38,303,000		

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費	13,540,000	15,155,000	−1,615,000	
国庫補助事業	4,200,000	5,500,000	−1,300,000	
奨学金				
国内奨学金	1,300,000	1,300,000	0	
社会福祉奨学金	400,000	400,000	0	
国外奨学金	450,000	550,000	−100,000	
ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	
安井医学奨学金	320,000	300,000	+20,000	奨学金30万、活動費2万
守田科学研究奨励金	850,000	850,000	0	奨励金60万、活動費25万
若手会員育成金	1,000,000	1,000,000	0	
分担金				
IFUW・UWA会費	1,700,000	1,900,000	−200,000	1名につき12SF
IFUW関係連絡費	150,000	200,000	−50,000	
NGOその他	150,000	85,000	+65,000	
助成金				
IFUW寄付金	200,000	200,000	0	ピーナ・ロイPID基金
支部振興費	70,000	70,000	0	
各委員会活動費	700,000	800,000	−100,000	
図書・資料	50,000	50,000	0	
印刷製本費				
名簿発行	0	0	0	
会報発行	1,500,000	1,400,000	+100,000	会報4回
通信運搬費	400,000	450,000	−50,000	
2 管理費	5,600,000	6,173,000	−573,000	
給料・手当他				
給料・夏・冬手当	1,920,000	1,900,000	+20,000	
法定福利費	40,000	50,000	−10,000	
会議費				
総会費	1,500,000	1,800,000	−300,000	
理事会費	30,000	30,000	0	
役員選考委員会費	0	5,000	−5,000	
旅費交通費	80,000	80,000	0	
通信運搬費	300,000	300,000	0	
什器備品費	40,000	30,000	+10,000	
消耗品費	650,000	600,000	+50,000	
印刷製本費	200,000	400,000	−200,000	
負担金	270,000	348,000	−78,000	
光熱水料金	200,000	200,000	0	
諸謝金	120,000	120,000	0	
租税公課	150,000	200,000	−50,000	
事務所営繕引当金	0	10,000	−10,000	
雑費	100,000	100,000	0	
3 繰入金支出	100,000	200,000	−100,000	
事業基金繰入	100,000	200,000	−100,000	
4 予備費	200,000	200,000	0	
予備費	200,000	200,000	0	
D 当期支出合計	19,440,000	21,728,000	−2,288,000	
E 当期収支差額(A−D)	0	−1,225,000		
F 次期繰越収支差額(C−D)	8,800,000	16,575,000		